京城日報

二十五日夕刊

定價 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢 （郵送限前金）三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓 ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄内一行金一圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢増 ▲三號活字は二行、六號活字は五號活字同樣

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 笹口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話（編輯局長二四番 營業部二六番 工場二三番 印刷所二二番 販賣部二一番） 振替口座京城六〇〇番

◎桃山陵御親謁

二十五日午前八時五十分 聖上陛下は京都皇宮御發輦鹵簿肅々京都驛著御同九時三十四分桃山に著御、諸員の奉迎裡に喇叭の聲山陵の松に谺す裡に鹵簿桃山御陵に向ひ頓宮にて御召換あり御祭典を執行せられたるが奏樂の裡に掌典神饌幣物を供へ岩倉掌典長祝詞を奏し 陛下親しく御拜あり次に皇后陛下御代拜昌子内親王殿下の御拜禮あり諸員拜禮奏樂の裡に祭典を訖り同十時四十分桃山御發、同五十五分京都へ還幸あらせらる（大阪特電）

◎英支同盟條約

英支同盟條約倫敦に於て協商中也（北京特電）

▲英國公使提案内容

獨逸側が總統府にて探知したる所にては英國公使の英支同盟案提起以來袁氏は陸國務卿楊士琦梁士詒等數氏が二日間協議し二十二日陸氏は英公使と會見し二時間密議せり其の内容左の如き形式ならんかと

一、同盟期間十年
二、英支協同して獨逸の勢力を支那より驅逐す
三、支那が獨逸に負へる債務は全部返還の義務なきものとす

右は確定案にあらず多少變更あらん帝政承認の件も包含すべしと（北京特電）

▲獨逸公使抗議せん

獨逸公使は英支同盟の件に關し二十四、五日中に袁總統に謁見抗議すべし（北京特電）

▲同盟條約の要點

支那側より得たる報道に據れば英支同盟交渉は倫敦に於て支那公使と英外相との間に開始せらる其要點左の如し（北京特電）

一、歐洲戰爭終結後支那は國際會議に協商國側と同樣の發言權を有す
二、支那は條約上獨逸に年々支拂ふ可き二千萬圓の償金を中止す可し
三、英國は獨逸海軍を牽制し絶對に東亞に侵入せしめざる義務を負ふ
四、支那は能ふ限り英國を援助し英國は支那と同等の國際的位置を維持し且つ種々の優越權を受く

◎印度歸客の談

印度古倫母の雜貨商店主五間野英一氏廿四日朝歸來其の談に錫蘭島在留邦人は十三名にして佛教徒は同宗教たるの故にて日本を崇拜し英國人よりも日本人を信頼するの風あり爲めに英國官憲は日本人を忌み邦人の上陸を禁止するに至れり過般ランロバラと云ふ日本最負の一富豪は英官憲の迫害に堪へず何れへか亡命せり日本商家は歐洲戰亂後賣れ行き良好となるも資本薄く充分の發展を爲し得ざるは殘念なり（門司特電）

◎言語に絶した心境

立花警務總長謹話

御大典に參列し得た大日本臣民の心情は皆同一である筈だ文官にしても武官にしても上御一人に對し奉る忠誠至純の心は根本に於て聊かの曇りも濁りもない言語に絶した心境である語るべからざる心境なのである若し之を強ひて語らうとすれば枝葉を叙べる事になる禪の不立文字の樣に言語に絶してゐるのである予の如き口の巧みでない者は無理に語らないがいゝと思ふ小松、國分諸氏の語る處は又以て予の語らんと欲する所宜しく諒せられたい

◎波斯事態

外務省著電

波斯の事態に關し英國外務省は十一月十六日大要左の如く發表せり

七月十五日暴徒の一隊ブシール附近に於て英國總領事邸を襲はんとし我偵察隊を攻撃して將校四名を殺し兵數名を殺傷せり九月一日在ギスパハン英國總領事乘馬▲外出の際狙撃され從者一名死亡九月七日在シラス英國副領事狙撃せられ翌日死亡又十月二十三日同地領事館々員及び館僕狙撃せられ館僕死亡八月二十五日在カルマンシャ英國總領事ハマダンより任地への歸途カルマンシャ獨逸領事は兵二百と機關砲二門を以て附近の山地を占領し同地知事に對し三時間を期して英露兩國領事に退去を命じ肯かざれば攻撃す可き旨を通告し領事は已むを得ずハマタンに撤退せり此擧たる獨逸人は波斯に入る要路に當れるカルマンシヤより▲協商國側の領事を撤退せしめんとするにありしは明かなり尚ほ最近在シラス英國領事及び帝國銀行支配人捕虜となれりとの情報あるも同地との電信不通となり之を確むるに由なし十一月十六日タイムスは右外務省の發表文を引證したる後大要左の如く論述したり如何に無力にして且つ誠意なきやは以上の事項に依り之を證す可く斯の如き暴擧を斷滅せしむ可き時期方に到來せり露國に於ては之等の暴擧を以て獨逸側が何等か特殊の協定を波斯と結ばんとする陰謀に伴ふ出來事なりと認め在テヘラン露國公使館は▲波斯政府に警告するに同國にして若し獨逸側と此種協定を行ふが如きことあらば同國の獨立領土保全に關する英露の保障は全然無効となるべきを以てし英國外務大臣又同趣旨の警告を爲し以て波斯政府に注意する所ありたり然るに各地到著電報は獨逸人がテヘラン獨逸公使館を中心とし盛んに波斯軍隊の養成に從事しつゝある由を報せり從來露國が武力に頼らずして波斯に於ける獨逸の黄金政策と土國の戰鬪密謀を破壞せんことに努めたりしも兵力に依るの外到底其目的の達し難きを認め遂に波斯政府の同意を得て▲今回軍隊派遣の擧に出でたる次第なり吾人は英露の警告と露國軍隊の威力が波斯當路の迷夢を破り彼等をして獨逸の煽動に乘せらるゝの危險を悟るに至らんことを期待す（東京）

◎聖上還幸期

天皇陛下には二十六日泉山御陵御參拜二十七日愈々京都御發輦東京に還幸あらせらるゝ由（大阪特電）

◎歐戰と支那鐵道

支那内地に於ける既成及現敷設中に係る鐵道は多く其資金を外國に仰ぎたることゝて今次の歐洲戰突發以來打撃を蒙りたること甚だしく今外資に據り建築中の鐵道狀況を見るに左の如し（北京）

▲浦信鐵道 は全く中止するの止むなきに至れり該鐵道は其二百五十哩の測量已に終り九哩の土工事も實行されたるが之が資金は歐洲戰發生する以前に於て尚未だ募集せられざりし爲め歐戰の餘波を受け工事を中止することゝ寧ろ當然といふべし其後支那政府は同線の速に開通を計らんとして國内にて千二百萬元の公債を募集すべく英國銀公司に向つて交渉せんとの説ありしも之れ亦沙汰止みとなれり

▲海蘭線 海蘭鐵道は今尚工事に從事中なるも白耳義シンヂゲートより交付する資金微々たる爲め意の如く進歩せしむる能はず其落成は幾日後なるや豫測し難し

◎大阪港貿易

▲外國貿易 十一月中旬の大阪港外國貿易は輸出品價三百五十三萬二百三十圓輸入品價百十七萬六千八百九十三圓にて差引出超二百三十五萬三千三百三十七圓を示せり

▲支鮮貿易 十一月中旬の大阪港對支那及び朝鮮貿易は移出品價五十八萬二千八百八圓移入品價八十六萬九千四百三十三圓にて差引入超二十八萬六千六百廿五圓を示せり（大阪）

◎月末迄に認可

指令ある可き見込

京城商業會議所設置の認可申請書は昨報所報の如く總督府に廻附されたるが同定款の起草に就ては既に創立委員と當局者との間に再三折合を爲したる上定款の草案を作製したるものなれば當局の認可指令も比較的に早く交附あるべしとのことなり、從つて創立委員並に會員一同の渴望し居れる年内の評議員の選擧を實行し得らるゝ可きこと明かにして豫て調査中の選被選擧名簿も愈兩三日中には全部完了す可きを以て若し今月内に認可の指令あらば來月一日より一週間會員に縱覽せしめ愈十五日選擧を行ふ手順なりと

◎演藝館出願却下 京城協贊會の理事會は二十四日午後二時より學校組合樓上に於て開會し演藝館處分の件に付きて協議したる結果出願者に對しては二十五日午後一時より協贊會に出頭を求め井上理事長より該出願書は方面違ひのものなるにより取計ひ成り難き旨申渡す所あり一同之れを諒として引取りたり

◎協贊會場の建物處分 協贊會内私設の賣店其他一切の建造物は本月末迄に全部撤去する筈となり居れるため目下盛んに取壞中なれば月末迄には遺憾なく舊態に復す可し

◎教員養成所修學旅行 京城中學校教員養成所三十二名は十七日間の旅程を以て修學旅行の爲め二十五日朝南大門驛發の列車にて内地に向け出發したり

人事消息

▲松寺檢事正 東京に於て開會の全國司法官會同列席の爲め松原書記同伴二十八日朝南大門驛發東上
▲今津明氏（中央試驗所技師） アルカリ工業、漆器業及各大學應用化學科視察の爲め不日内地へ出張
▲久次米技師（勸業模範場） 日本園藝會福岡支會主催の九州全國園藝大會開會式臨席の爲め二十七日内地へ出張
▲蒲野乃作（全南警務部長） 廿五日朝出發赴任
▲竹内湛氏（咸南道技師） 二十四日入京浦尾旅館へ
▲朴箕陽男 二十四日歸京
▲ヘフトレル氏（露國總領事） 二十五日長崎より歸京
▲藏持泰三氏（埼玉縣農業家） 二十四日新義州より入京天眞樓へ
▲石川權吉氏（埼玉縣蠶業家） 二十四日入京京城ホテルへ
▲林武次郎氏（大阪府農） 廿四日入京巴城館へ

南言北語

英支協約が出來ると云つて來た▲倫敦で支那公使と英當局の間に示されたと云ふ提案の内容を見るとイヤ何うも支那の爲には棚から牡丹餅以上▲砂糖の山へ甘草の杖で追ひ上げて蜜を甜さす程のものだ▲是が實際なら支那人の喜びはもとより其の上帝政も出來ると來ては之れ程の事はなからう▲北京の英公使も英支協約に就て大分運動して居ると云つて來た▲但し之れには獨逸側の觀測する處によればと云ふ正札が付いて居ると云ふ事を忘れてはならぬ▲併し英國が日英同盟を破棄して英支同盟を締結すると云ふ者へなら出來るのだらうが利を見るに早い英國でも其の樣な馬鹿はすまい▲元來支那から獨探を根本的に放逐すると云ふのも英國の爲には東洋殖民地の撹亂を防ぐ爲めだ▲萬一撹亂が起るならば同盟上日本と云ふ國のある事を知らぬ事はあるまい▲又た日本の強い事も御存じの筈既に同盟によつて青島戰の成功も事實に現はれて居る▲幾等若しくても腐りかゝつた者はなからう▲英國下院で協商國は肉を我から進んで食つて難病になる支那に對つて是以上進んで新なる手段を執ることなしと外務次官ロバート、セシル氏が斷言して居る處から見ても此の説の眞僞は分る▲之れは獨探が波斯に於て活動した樣に其の毒手を支那で振はんとして居る證據である▲ドツコイ東洋では波斯の樣に巧くは行かぬよ▲元來獨探の支那に活動は一は印度方面を目的とし二は支那に事を起さして日本の歐洲出兵を邪魔する爲めだから▲支那が之れに釣られたら自滅で英國が實際やつたら東洋方面に於ける勢力失墜だ▲何が何でも日本は支那を監視して居れば可い最早帝政が出來ようが出來まいが其の樣な事は掟つて置くが宜い數▲以夷制夷は由來袁總統の外交の奥の手で陰謀で撹亂する外交の妙は獨探の虎の巻だからナア

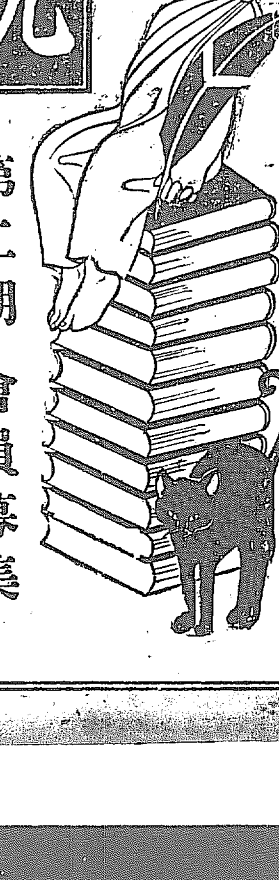
廣告

東洋一實用靴
防寒用御披露
弊店製造の靴及スリッパは値段破格の安價にして堅牢なるが特色とす
一ラシヤ靴防寒用 金一圓廿錢以上金二圓六十錢
一麻布靴運動用 金一圓卅錢以上金一圓八十錢
一スリッパ一式 金廿五錢以上八十錢迄
此他御注文に依り隨意調製仕可候
地方は代金引換にて迅速送荷可致候
京城黄金町三丁目
商標 Ⓚ 實用靴製造卸小賣所

大典記念大賣出し
登錄商標 銘茶
本月中景品進呈
各博覽會共進會 評賞牌受領 品及
右之他濃茶、薄茶、紅茶、折物、粉茶あり
代金は前金ならば送費も安く且直接配達す[illegible]郵券代用にても宜し或は振替大阪八九二へ振入被下[illegible]代金引換にても宜し方は一廿買方賃擔[illegible]取次販賣御希望の方は御申込を乞ふ
[illegible]壹メ目箱詰販賣法は共同購入に最も便利[illegible]御座候景品送附都合至極便利に候
御茶調進所 山城綴喜郡長池郵便局區内 青谷村字中 碧翠園茶舖 振替大阪八九二〇番 長池十四番

鑛產物工業分析法（最新刊）
京都帝國大學教授工學博士 渡邊俊雄先生校閱
藤田組研究課技師 船木勝三先生著
年額一億五千萬圓鑛產物取引の鑑定者!!
本書は著者が十年間の體驗より得たる蘊蓄と最新歐米諸鑛山に於て採用せる分析法とを掲げ斯業に從事する技術者に完全なる指針たらしめん事を期せり。記述は凡て實際的にして特に金銀の一篇に百五十頁を費し、乾式試金法の操作と原理を詳述し、各金屬の始に簡單なる檢出法を掲げ定量法の一項を詳述へて、動もすれば器械的に流れんとする分析者に根本的滋味を與へんとせり。金屬及石炭等の分析に從事する技術者、採鑛冶金に關係する學生は勿論、鑛石賣買業者必備の參考書也。
菊判六百四十頁 挿圖約百五十
定價 貳圓五拾錢
郵税 內地十二錢 四十三錢
東京神田 富山房 振替五〇一一番

蘇峰 德富猪一郎 監修
東京帝國大學法科大學教授法學博士 吉野作造 編輯
現代叢書



第二期=會員募集
南洋 大正四年十二月發行
歐洲大戰 大正五年一月發行
極東の外交 同二月發行
婦人問題 同三月發行
現代米國 同四月發行
新藝術 同五月發行
獨逸軍國主義 大正五年六月發行
滿蒙 同七月發行
最新科學 同八月發行
新聞 同九月發行
極東の民族 同十月發行
近時の經濟問題 同十一月發行
會費毎月金壹圓、一箇年完成、入會金貳圓（但最終二箇月分會費也）
一時拂前金拾圓、送料內地不要、入會申込締切十一月三十日限り
取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

第十四 歐洲大戰寫眞畫報
歐洲戰爭實記增刊 十一月十五日發行 定價廿五錢 郵税二錢
東京本町 博文館
最近寫眞四十餘頁 著の特色ある記事 興味と相應じて戰況誌上に活躍す

時間表 （南行） （北行）

二やり!!　『凄じい取引所の場景』

●賣るのも買ふのもさあ、今だ!

『朝鮮の米相場で生死する人々』＝其一
拍子木の音一つで顔色が變る

いつもなら新米の走りの出盛る今日此頃定期の米相場は下走るが例であるのに今年は

■大阪邊の强氣連が本年の米作を平年作以下と見て取り來年は必ずや供給不足を告げるであろうと云ふのは材料に滅法界に强がり手當り次第に買ふので、期米相場は忽ちにして奔騰又奔騰、呼く間に石に就いて五十錢も六十錢も上跳ねると云ふ景氣、此電報が仁川に入るなり、朝鮮に唯だ一つしかない仁川米豆取引所は近年にない活氣を呈してアノ埋立地一面に建ち並んだ仲買人の

■店先は活氣旺溢 道行く人の眼は誰れのも活々と光り輝いて居る、相場師の言葉で云へば向上期とか立ち直り期とでも云ふのであらうが素人の方から解り安く云へば儲けもあるが損もする、結局手つ取り早く勝負の付く時なのだ、其道の人の腕を見せるのも、亦最も頭を働かせて腦味噌を絞つて居るのも今なのだ、今なら自分の財産の全部を提供しても定期に手を出してもよい時だと或る相場師が云つて居た位の時だ

■一日に五萬石も 六萬石も賣買の出來高があると云ふのだから堪らない、二十三日の取引所の景氣と云つたらなかつた、前場から後場の場立ちの光景の凄まじさと云たらお話にならない、十坪足らずの不正六角形の取引所の構内には賣手買手が百餘人板臺には社長以下事務員が耳に胡粉の筆を挾んで立つて居る、勇ましい拍木の音が憂と一ツなると一月限の場が立つ、眞中に立つて居た三十人許の前掛姿の仲買人から其手代の顏色が何れもサツと變はる賣と買とは入り亂れて

■煮くり返へる 鼎の如う十本から二十本の人の腕は或は拳骨になり『ドタ遣る』と云て出たり指一本なり『一買』と云て出たり二本なつて『二買』で出たり樣々に變化しながら虛空を突く其の凄まじさ叫喚怒號場内は唯だモー煮くり返つて居る其の眞中の喧噪を取り纏まいて居る人はないが朝鮮人も居れば女も居る、ザツト合せて五六十人、形勢非青い顏の人、血走つた眼の人、洋服なりと見たものか、彼方でも此方でも何事かを仲買に耳打ちする其慌ただしさ、僅々十分位の間に二千石三千石と云ふ大商いをするのだから喧ましいのも無理はない、手つ取り早く勝負の付く此頃

■大儲けをした人があらうか、而して其儲けた金が何處に流がれて行く儲けた人があれば損をした人がなければならぬ、損をした人は如何にして金の工面をするか、此盛んな場況を見た記者は急に其塵事迄研究して見たくなつた

●臺灣要塞地圖盜まる
犯人は逃走して大阪に入込む

臺灣總督府通信局にては本月七日頃同局土地調査部作成の臺灣要塞地機密地圖基隆、澎湖島五十五萬分の一の機密縮圖貯金爲替帳十五册を鞄の儘何者にか窃取されたるが犯人は大阪に入込し形跡あり當局は秘密に搜索中也（臺北）

●朝鮮から上書を持つて
入洛したと稱する怪しき男

二條離宮の夜寒も閉て丶十八日午前零時を過ぐる頃聖上の御遷幸を拜せんと雛を踏んで堺町御門の外に集ひし群衆の中に怪しきもの潛みしを御門を固めたる神奈川縣派遣の警衛小隊の警官が目早く認め取調べたるに掛軸大の唐紙に墨の跡鮮かに『天皇陛下萬歲』と大書したる外珍らしき意味の歌三首を記したる上書を携へたるが之を聖上に捧げまつらんとて朝鮮忠淸南道湖南線論山郡旭町馬淵里の住居を出で遙る〲京都へ來り聖駕を拜するものなりと眞面目に述ぶれど言葉の端に辻褄合はぬ點あり且懐中には僅二十錢しか所持せず京都の木賃宿を渡り歩けること知れたるより取敢ず警察犯處罰令に依り拘留十日に處したり身許は岡山縣淺口郡連島町生れ四一郎弟小松原齊一（三三）といふものなり（京都）

●天鬼は詰襟、白龍は若殿
門司埠頭に着ぜる靑島囚人團

馬賊の頭目として其名を知られたる久留米市生れ白龍事早崎貞雄（三七）新潟縣蒲原郡津川町生れ坊主山事天鬼薄益三（三六）同 弟守次（三六）外三十六名の既決囚は憲兵伍長岡本萬千百氏以下憲兵上等兵十二名に護送され二十三日門司入港商船天草丸にて靑島より落陸軍運輸部小蒸汽船に搭乘陸軍運輸部棧橋より上陸同構内に一同休憩の上小倉憲兵隊に引渡されたり而して一行は思ひ〱の服裝にて一定せず洋服を著たるもの和服を著し居るもの囚人か觀光團か薩張り分らず其内天鬼は大兵肥滿の體軀に茶褐色の詰襟服を著し金線眼鏡を掛け口髭は綺麗に剃り落し悠然と構へて四方を眺め白龍は寧ろ小柄の體にセルの袴を穿ち鳥打帽子を冠り一見何處かの若樣かの如く疑はる程の美男子にして彼が馬賊の一頭袖とは思はれざりし兩人の犯罪に就ては既に世人の知る處なるが其他のものに至りては騷擾罪破廉恥罪殺人阿片密輸入等ありて刑期の最も永きは藝妓殺しの無期懲役支那人殺しの十五年等重なるものにて白龍、天鬼等は共に四年の刑を言渡されたりとの說あるも果して眞なるか否や（門司）

●英人舌を捲て驚く
あはれ日本男子の雄々しの姿よ

久しく倫敦に滯在し西比利亞線を經由して歸朝した某氏の談に昨年の冬英國が印度兵を戰線に送つた時、頭を布で捲いて彼れ等の間に紛れ込んで從軍した日本人があつた、彼れは新嘉坡に住んでゐた九州の一男子であつて到る處に奮戰して驍名を馳せたが白耳義の國境戰で爆彈を浴びて

■二十餘箇所の創を受けた、殊に其の一つは腹部を貫通したので彼れは思はずドツト倒れたところへ崖の岩が崩れて其の下敷となつた、剛氣の彼れは少しも屈せず岩を押し退けて這出し尙ほも前進しようとしたが心許り矢たけに逸つても足腰が立たないので切齒りして藻掻てゐるのを戰友の印度兵が發見して佛國の野戰病院に收容した、所が今春になつて少しく治癒に向つたと見るや彼れは踴躍して再び從軍を志願したが司令官は

■貴重な模範兵を死地を踏ませるは忍びずとあつて從軍を許さず英國に後送して大手術を受けさせることゝなつた、彼れの左の掌には多くの彈丸が殘留してゐたが彼れは魔醉藥を用ゐず極めて平和なる態度で之れを拔き取る手術を受けたといつて英國人は皆な舌を卷いて日本男子の譽が高いといふことである、彼れは目下南英ボーンマウスの海岸で日々自轉車を乘廻して靜養しつゝあるが勇氣勃々として頻に脾肉の嘆を發してゐると（倫敦發）

●飛行船の大爆發
獨逸海兵十一名忽ち横死を遂ぐ

獨逸シユレウキツヒ州のトンデルンにて新造のツエツペリン飛行船キユー第十八號は格納庫内にて突然破裂し附近に居たる海兵十一名咄嗟に悲慘の横死を遂げたり折しも職工等は同飛行船の格納庫の屋根の仕上げをなし居たりしに海兵等は幷を手に錦ひつゝ嚴重なる規則あるを無視して屋根上にて葉巻煙草を燻らし居る中一名の海兵過つて火の附きし儘の葉巻煙草を飛行船の上に落したるより飛行船の瓦斯に點火して忽ち大爆發をなしたるなり因に同飛行船は新造後只一回北海シルト島まで飛行を試みたるのみなりしと（倫敦電報）

●飛行大隊
新に編制されん

所澤氣球隊は十二月一日から愈々航空大隊に編制替をなす筈であつたが本年の新兵入營と除隊式期日が御大禮觀兵式擧行の爲め十二月十日に延期されたので航空大隊新設も又十日を以て編制が成立するのである

▲航空大隊の 編制は陸軍多年の懸案であつたが漸く本年度から之を見るに至つたので詰り現在の氣球隊は中隊編制であつたのを幸ひ之を以て飛行船隊となし尙ほ新に增加する中隊を以て飛行機隊を編成するのである微弱ながらも之れで飛行船と飛行機だけの二個中隊が形造られた事になるのであるが漸次擴張して別に一個中隊の飛行機隊を加ふる計畫であるさうな

▲一個中隊に 飛行機を幾臺附屬せしむるかと云ふことは軍機に關するから言明することは出來ないが差し當り氣球研究會に於て製作してゐるものを使用する外はない現に使用に堪ゆるものは十二三臺位で飛行船は雄飛號が僅に一臺あるのみだ豫算の都合で急に增加することは出來ないから當分之で滿足するの外はない大隊編制に就ては多少將校數を增加する事になるが之れは第二期第三期の卒業飛行將校で本隊に復歸して居る者の中から

▲數名を召集 して航空大隊附きとすることになるであらう。其代り今まで氣球隊附となつて居た飛行將校の中にも元の聯隊に復歸する者がある夫れから氣球研究會は陸海軍の氣球並に飛行機に關する最高研究所として現在の儘にて存在せしむる事になつて居ると

●藝妓一同の嘆願書却下の事
演藝館も宙釣りには出來ぬ

淸華亭内三太の矢崎すみを筆頭に中券番の藝妓六十名京城券番の代表者十數名から演藝館拂下を吉原會長まで嘆願に及んだことは既報の通りだが當時も記した通り最初協贊會が材料込なら

▲一萬千八百圓 損料貸なら九千七百圓といふので損料で借りたので使用濟の上は當然堀内商會の所有に歸する事になるので協贊會は何の交涉もないわけ、從つて嘆願書もお門違ひといふ事になる、そして又假に堀内から建物を二千圓で買受けるとしたところが移轉費及び建築費に一萬圓ばかり要るほかに宙釣りにしない限り

▲四百坪程土地 が要る。その代價の三萬圓内外は何處から出る烏渡無鐵砲だ、ところで協贊會では二十五日午後一時から此處の道理をよく言つて聞かせた上『詮議なり難し』と一件書類は返した、此の先きどうなる、一旦乘り出した舟だ四萬や五萬のお鳥目は股を裂いても出して見せると踏張るかそれとも泣寢入か茲暫らくが見物か

●氷上滑走場
安東縣に新設

安東縣市内有志相寄り民團樓上に於て協議せる結果今冬の氷上運動場は安東公會堂構内に新設する事となり既に工事に著手せるが會費は開期間を通じて一人金一圓宛を徵收す（安東縣）

●溫突煙突點檢

京城本町署にては本月十五日より十日間に亘り管内各戶に就て溫突及び煙突の臨檢をなし愈々廿五日より不完全なるもの及び破損せしものは相當改造修理せしむべく著手したり

●旭扇會溫習會

二十六日午後一時より明治町春秋菴にて旭扇會溫習會を開く由

●淑女院の慈善會

當地明治町佛蘭西敎會内に久しき以前より淑女院を設け朝鮮貧民の女兒二百餘名を敎養し敎師生徒の佛蘭西の慈善家の寄送に仰ぎ來りたるが歐洲大戰亂の爲め今夏より送金相絕え同院の維持困難に陷りたるより敎師生徒の製作品たる子供洋服テーブル掛、花瓶敷、手提袋、ハンカチーフ等一切を慈善券と交換して一時の急を凌がんと來る廿七日（土曜日）午後三時より同院に於て慈善會を開催すると云ふ但し慈善券一枚一圓にして前記同樣の方法を以て交換する次第なれば一圓券にて致出の物品を引當てる事もあるべし慈善券は永樂町畫伯圓中村安子方に申込む可しと

●日出校の心理講話延期

日出小學校に於て二十五日午後六時より開會の筈なりし金田萬次郎氏の心理學講話は天候の都合上二十六日午後六時に延期し同日は雨天にても開會すと

●此冬の洋服の新柄
身丈は可成短くする

■今年の冬服から言へばフロツク、モーニングの流行は別として良か茶の何方かと言へば去年よりも一層濃い目、さもなくば紺は相變らず好みが多く、大方は霜降りか細かい茶の縞地はスコツチ類かメルトンといふ處であるが、形は去年よりは一體に胴細りな始め全體に亘つてしつくりと身に密く樣につまり加減で身丈けは一般に短い

■釦の數も二つ又は三つまづ三つを柔和な向きとして、弱乘りは割かず前のくりの丸味の大きくなつたのを注目する、襟元のあきは大きく返りは細いのも流行の變つた一つ

■洋袴は股の方から裾に行くに從つて細く折返しは返さない方が上品となつた、チヨツキは襟のあきが狹くて折返りがない、そして片前の五つ釦といふ處である

■外套は眾より寒さの程度に從つて色々あるが概して短くなつて防寒の目的でなくば丈けは膝迄位、形は後を割ず袖口は折口返さず袖の釦は一つか又は無し

■地は普通ならば薄地メルトン、綾羅紗、色は鼠茶黑で時に綾縞もあるが多くは霜降り、之を防寒用に作らうとならば黒地メルトンの霜降りに栗鼠、貂鼬、獺等、毛皮裏に縫ひ合せて附け、前を廻らない後丈けの襟を附けるのであるが價は裏につける毛皮次第である

●面長□□判決

京畿道漣川郡嶺斤面陰垈里權奇燦（五三）は[illegible]費に消費し其他土地所有權保存證明用の印紙代六圓二十三錢を橫領し[illegible]

[illegible]丁目生李□□（三二）は大正三年五月より前記北村方に店員として雇はれ[illegible]の販賣及び代金取立に從事[illegible]てたるに拘らず主人に渡さず數回に旭町二丁目に居住する實父に渡し生活費を補助したる爲め京城地方法[illegible]

●[illegible]價代を詐取す

長野縣[illegible]之輔（二五）は京城某[illegible]取し之を消費したる爲め京城地方法院にて懲役四箇月の判決となりたり

●老人の行倒れ

二十一日午[illegible]宗面松山里六統一戶雲浩[illegible]（三）は本年十月花房町松本孫七方に[illegible]て價格五圓の靴一足を窃取せしを手[illegible]

天くもり
北の風又は西の風曇り後晴
（十一月廿六日）

少女の友
【十二月號】
▲本誌九月號所載（歷史物語）下弦の月の主人公おゆきさんの家を訪ふ……記者
新年號豫告!
▲跡見女學校の服制定まる
（附）實踐女學校の制服……（記者）
□（少女歌劇）抽籤（星野水裏）□春の行衛（長田幹彥）□
□（歷史物語）旭影（今西吉雄）□こぼれた香水（山田邦子）□
實業之日本社

ベルベツト石鹼
美人と線の深い
此の石鹼の商標
製造元 日本リーバーブラザース株式會社
V.5—B.

酒精アルコール
猩々印特等品、壹等品貳種新荷著精々勉强可仕候
酒精直輸入一手發賣元 仁川宮町（振替口座京城六八番）鬼頭兼次郎商店

內科 小兒科 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院
院主 醫學得業士 多々見五郎
電話九四〇番

優等淸酒
福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
支店出張所
東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

…取立及び歩拂て…頭より四月迄に大正四年度兩期合計二百六十一圓六十六錢を横領し生活…

●惡店員付懲役一年　京城明治町一丁目北村貞太郎方雇人同旭…は…滿洲…商金永鎭外三名櫻皮…枚豚皮百五十枚ボックス皮二枚を竊し代金合計二十八圓五十錢を取立…

…兩判事陪席水內檢事立會…係りにて公判開廷の上懲役一年二箇年間刑の執行猶豫の判決を受けたり

…月二…自己の配達…京城並木町…外數…り新聞代六圓六十二錢を騙…

●…の上京城…へ引き渡したり…仁川府外…出張檢視…築太郎…を安藤巡査に取押へられ逐一罪狀を自白に及びたり

●床しき鮮人の奉祝振り

浦野全南警務部長談

御大典に對する朝鮮人の態度と云ふものは非常に眞面目なものであつた寧ろ地方によりては内地人よりも率先して奉祝の設備を整へた處も少くない光州の如きも各戸に國旗、松飾りを爲すは勿論球燈をも掲げて奉祝の意を表し又或町にては緑門を造つて居た内地人側にありては多額の費用を朝鮮人に負擔せしむることを氣の毒に思つて其の金額の何分かを負擔せしめんとしたが鮮人等は却々聞入れず吾々とても等しく皆日本帝國の臣民であるから奉祝の意味に於て何等の差別ある筈はない從つて費用の如きも同一に負擔したしと強て申出で遂に内地人側も其誠意に感じて相共に奉祝の催しを盛ならしめたと云ふが如き實例もある實に近來内鮮人の共同和親が日を追て進みつゝあるは洵に慶賀に耐へざる次第で此外道路の改修にせよ衛生設備にせよ他の指導を待つ迄もなく自ら進んで其れに當らんとする模樣である全南は米と綿との各産地で從つて産業の發達は海に陸に著しく南鮮の寶庫として公言するに憚らず將來の希望亦頗る遼遠である

●大連と歐洲航路

何船も寄港不可能

歐洲戰爭以來大連に寄航せる歐洲航路船一齊に引揚げ假に船腹の緊縮を來したる結果歐洲を最大市場とする豆油の輸出こゝに杜絶し延いて滿洲油房業の上に影響し特産大豆の上にも消長を及ぼす虞ある爲め大連商業會議所は嚢に都督府に向け歐洲航路の郵船若くは商船を毎月一隻或は二箇月に三隻位つゝ大連に寄港せしむるやう取計方請願し都督府も之を諒とし年額七萬圓乃至十一萬圓の補助金を支出して郵商船の歐洲向船舶を大連に寄港せしむべく遞信省に稟申の上兩會社に交渉する所ありしに兩社とも船腹緊縮の折柄遺憾ながら之れに應ずる能はずとの回答ありしやにて折角の希望も茲に遂せられざる事となりしが前記補助金を以て社外船に歐洲行寄港を望むが如きは猶更不可能なるを以て結局時期を待つの外なき事となれり尤も昨今は幸ひにも漸次歐洲船舶の入港を見るに至れる傾向ありて從來停滯し居れる豆油大豆も次第に捌けつゝあれば左のみ悲觀を要せざるべし（大連）

●滿洲の製鐵業

滿鐵と鞍山站鐵鑛

最近内地新聞は關西某々資本家と造船業者との間に資本金五百萬圓にて製鐵事業創始の計畫あると共に滿鐵會社にても豫て計畫中なりし製鐵事業開始のことに決せりと傳へたるが滿鐵にては嚢に鞍山站鐵鑛採掘權を得べく支那政府に交渉する所あり其の採掘權は不日許可さるべきを以て或は之を誤り傳へたるものに非ざるか某重役の談によれば鞍山站鐵鑛採掘の權利は不日許可せらるゝとするも滿鐵自ら製鐵事業を開始するか日支合辦の下に滿鐵の經營とするか若くは採掘權を民間に讓るか此邊の具體的決定は未だ之れあらず第一本溪湖における大倉組の製鐵事業との關係も考へざる可からず旁々滿鐵が製鐵事業を開始すとの説は今のところ何等かの誤報と認むの外なしとの事なり併し製鐵事業に多年の經驗を有する中村氏の總裁たる今日殊に枝光製鐵所が財政整理の爲め第三期擴張を延期され我國に對する唯一の鐵輸出地たる米國が鐵の輸出を禁止せんとし而かも近來露國等より汽鑵車其他の註文頻繁にして製鐵事業の大に振起を計らざる可らざる折柄既に鞍山站鐵鑛の採掘權を交渉し而して不日其の許可を受くることにまで運びたる滿鐵が此際直接なり間接なり何等かの方法の下に滿洲製鐵事業の興起を促すは當然の事といふべく早晩事自から判明すべし（大連）

●米檢成績良好

群山米穀檢査所開始以來僅々二箇月餘の今日輸移出群山米の改善せられ内地當業者の群山米に對する聲價を高めたるは實に驚くべきものあり檢査開始の當初は夾雜物混入量平均百分の七、五率を示し居たるも爾來檢査當事者が一々輸出米に就て現實の檢米成績標準を示しては熱心獎勵せると當業者の能く之を服膺し乾燥精選に努めたる結果昨今の夾雜物混入量平均率は百分の五、二を示すに至りたり斯くの如くして檢査の嚴正に因り短時日間に精撰改良せられたる群山米は早くも内地取引價格に常に一圓の價格向上値開きを見るに至れりと

●清州農銀の發展

漢湖農工銀行清州支店は時勢の進歩に鑑み今回鳥致院に派出所を設け近く開業する由なれば金融に至大の便を與へ同地方一帶の發展に資する所多からん

●鈴木忠北長官

御大典に參列したる鈴木忠清北道長官は御大典後東上し滯京中なるも本月末頃に歸任の筈なりと

●清州の晝小火

二十四日午前十一時頃降り頻る雨中監獄方面に只ならぬ黒煙の立ち昇るにすは火事よと直に現場に馳付見れば火元は監獄の裏手に當る三上分監長官舍の屋裏なる林業勵方の竈の不仕末より傍に積みありし枯草へ燃え移り火は益々擴がらんとせし折柄逸早く見付けたる看守連は機を逸せず備へ付けの消火器を各自に携へ引連來たれる十數名の囚人を指揮し直に消し止め大事に至らざりしは不幸中の幸なりき

●木浦雜信

●木浦米棉移出高　本月一日より十九日迄當港より移出したる米は玄米一萬八千四百六十叺精白米四千三百五十八叺中白米一千二百七十一叺にして繰棉は三千四百八十二個價格二十萬六千六百二十圓に上れりと

▲長城寒天製造　木浦水産會社長城寒天製造所に於ては目下原料の一番晒し中にて今明日より愈々製造に著手すべく製出豫定は二千貫にして過般神戸横濱等の當業者より續々取引の申込あり需要頗る多きを以て製造所に於ても取急ぎ中にて前途好況なるが如し

▲棉花改定價格　全南道棉花の改定價格は大阪ミッドリング三十八圓に指定されたるが前値に比し一圓五十錢の低落にして會社側は今少し下値ならんかとの豫想なりしも改定期の一兩日中稍々上値の入電ありたる爲め遂に此の程度に止まるに至れるなるべしと云ふ新指定に依る木浦相場左の如し

一等實棉	十一圓五十四錢二厘
二等實棉	十圓二十八錢八厘
三等實棉	八圓七十九錢九厘
四等實棉	五圓七十七錢一厘

本社電話番號

當分の間構内接續電話を廢し凡て直通電話にて左の通り御呼出被下度候

編輯用	一三四五番　一二一四番
營業用	三二六番　六六〇番
發送用	二六一六番

●忠州より

▲小學校落成式　工費三千三百圓を投じ新築中なりし公立忠州尋常高等小學校は竣工を告げ移轉準備中なるが二十五日落成式を擧行することに決定せり當日鈴木道長官其他貴顯の臨席を觀るべく一般在住民に招待状を發せり

▲記念圖書館　公立忠州尋常高等小學校及び普通學校にては御大典記念圖書館設立の計畫を以て木藤小學校長、前田普通學校長極力鞅掌中なりしが特志家鹽田禎介氏は其壯擧を賛し各百圓宛を寄贈せり

▲記念貯金と切手　忠州郵便局長酒井文次郎氏は御大典記念貯金會創設の計畫を以て寢食を忘れ奔走中なりしが會員二百七十四人に達し十七日迄の預入金額二百十三圓六十錢の巨額に上り此外大典記念貯金臺紙使用の切手貯金口數五十五口金額三十四圓七十錢の取扱をなせり因に記念葉書は十日記念切手類は一錢五厘切手は十四日其他は十八日を以て全部賣切となれり

●連絡船上陸客

二十四日午前入港弘濟丸一二等客　一等（三名）準餘鶴、川上常助外人一名二等（二十五名）市川貞子、三浦啓子、和田岸子、洞野いな子、林武次郎、三木俊之助、同ふじ、同宗貞、同時子、同低子、平野忠次、田口正徳、同つね、富士洞然、八木正之、藤田寛次郎、高山官吉、榎田郷、鷹田長治、高橋晋一郎、伊州正雄、同君子、木浦梅、板千代三、新田多喜人、三等（百六十五名）

二十四日午後入港新羅丸一二等客　一等（十一名）桑原八司、同敏、中西正樹、淺野梅吉、桑田哲三、相馬政之助、同友、三好唯吉外人二名、二等（十二名）林捨次郎、同され、石原寅之進、同あさ、同かほる、岩田政太郎、遠藤馬次郎、片伽勝敏、北藤築司、大野正家、相小三郎外人一名三等（七十四名）

●奇石治療を訪ふ

永樂町本願寺前に酒井猶吉假寓と白木の標札、質素なる門構、刺を通ずれば『只今治療中故暫らく御待ちを』と受付の挨拶、受付相手に樣子を尋ぬれば、要領はからである　朝七時に仁川の高杉御毛人がイの一番にお見えになつて夕方まで先づ卅人より治療が出來ません治療に要します時間が一時間に平均三人ですから。そこで輕微なる皮膚病や肩のこりや頭痛などなら一回で治りますが重に數年來の癩疾や病院で見放された方が多く。全治迄には一週間以上を要するのもありますので毎日四五人宛より新患者を受けられません氣合術や御祈禱とは違ひますので……患者は皮膚病神經痛リウマチ胃腸子宮などが多く中氣ルイレキなどもあります。水原や仁川邊から滯宿して來る方や鷺梁津永登浦からも參られます。と話半ばに奇石の所有主酒井氏は湯突の治療室より出で來り助手と交代す。五十恰好の鼻下に髯を蓄へ赤銅縁の眼鏡を掛け治療衣のまゝ『サア何んでしよう。因より醫者でも無い學者でも無い私には判らぬのが道理で東京で學者や醫者の方々でも確かとした事は今の處まだ判らぬと見えます。唯だ其結果から見ましてラヂユーム或はそれ以上の何物か藥物を含んでそれを絶えず放射してゐるといふことには一致して居ります。御當地では警察や警務總監部からは御職柄檢閲に見えまして消毒等に就いても御注意を受けましたが外にはまだ研究的にお訪づねの方は見えません』狹い座敷に患者がゴテ付くので蒼皇に辭した。聞く處に依れば別府温泉から招聘を受けだので或は來月中旬一ト先づ退京することになるかも知れぬといふことである

商況

東京株式特電

二十五日前場寄付　一三一、八〇　大引　一三一、九〇

債券現物特電

公債直取引

	一四三、〇〇
	一三、五〇
	二八〇、〇〇

深川在米

八一、九〇　八一、〇〇　九八、二〇〇

東京期米特電

二十五日前場　一月限

一四五七	
一四五九	
一四四三	
一四四四	

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

二十四日後場

限月	寄付	大引
十一月限	一二七、八〇	一二七、八〇
十二月限	一二八、五〇	一二八、三〇
一月限	一二九、〇〇	一二九、一〇
二月限	一二〇、五〇	一二〇、五〇
三月限	一二〇、四〇	一二〇、五〇
四月限	一二三、五〇	一二三、四〇

下關期米特電

▲二十五日前場　當限寄付　一四、〇三　中限寄付　一四、二三　先限寄付　一四、六七　止め

朝鮮物産特電

▲二十五日前場

	當限	中限	先限
寄付	三、五	三、六	一四、三
高値	三、六	三、三	一四、三
安値	三、五	三、三	一四、六
止め		三、四	一四、三

白米十錢高

雜報

●株式の反動安　…に奔騰を重ねし株式も餘りの運臨に一腰打動たるか今前場に至り反動を呼びしものゝ如く…大阪電報米著東京電報面にして前場之に依れば日本郵船及主力株の反動安を報じ居れり

●洋紙類の昂騰　…パルプは漸次産出額の増大を見つゝあるも輸入額に比すれば殆んど語るに足らざる状況なるより自然洋紙類の相場は海外相場に準據して騰落するの現狀而して今日の如きパルプの昂騰は從つて本品の昂騰を誘致せるかパルプの相場と海外パルプの相場は現今約一割程の高低を有するのみならず印刷紙類の輸出盛々…

●浪平板更に高し　激増しつゝあれば先行き益々上騰の氣配を呈すべき也　前報後未だ數日を出でざるに二十四日浪平共十錢方の昇騰に又もや…を告げ平板價格は三十番コメット一圓七十錢アポロ一圓八十錢浪板六尺一圓四十二錢八尺一圓七十錢となり尚此勢ひを以て推移せんには平板の一圓説も遠からず實現を見るべしと

●洋釘一部値上げ　洋釘は突飛拔きの後値段の關係もあり稍々落付模樣を呈しつゝありしが昨今比較的在荷の餘裕を存する三吋以上の物を除き一吋二吋半は五十錢一吋四分の三乃至七分五厘の物は一圓方を引上げたり昨今の相場は七分五厘十八圓五十錢一吋七圓五十錢二吋二吋半は共に十六圓といふ高値なり

●亞鉛線昂騰　亞鉛線は過般來大阪より欵度の高報に接し最早狀維持に堪へず遂に八番線十九圓六十錢九番十一十錢六圓三十錢十一二十五番は二十圓を唱ふるに至れり之を本月十日前後の相場に比較すれば八番四圓七十錢二十五番六圓三十錢高になれり

●糯は愈々強硬　出廻り稀薄なる原因は本年度作付の減じたるによるか將た最近内地米價の立直りと共に移出商談の活況を見つゝある折柄産地一般が割好き正米を先に出して糯は後にするがためなるか其邊は未だ確かならざるも兎に角例年此處出廻るべき筈の物が出ざるといふ丈に自然買氣も強き所なれば産地の高値には割合に人氣を刺戟したるものゝ如く一面には此處出廻つり聯は間際の出穀を多く却つて…

●鮮内の供給不充　…田作り拂底　田作りは最早時期を…東北沿海物の出廻りを見るべき時期なるも本年は内地各方面不漁の爲めなるか釜山方面は移出商談盛んに行はれ從つて産地相場の漸騰…

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町二丁目　電話長三一二六二番

海岸町　吉村商店

下關相場

▲朝鮮白米も強硬　其後三百六十叺の輸入に過ぎざるのみならず内地正米の引締き好調を演じ居るに米主は意氣強きに依り相變らず強硬を極め居れり而して其後に於ける當用口への出來直は左の通り

▲大豆は弛まず　本品は引續き出廻りありて兎角買進む相場は崩れずと雖も何分産地の人氣安からのみならず時分柄引續き相當の…ありて各荷主の安くば手放さざるに依り更に市況弛まず之れが爲め來直は左の通りにて其後の出…

各地商況

▲小豆は格別狂はず　本品は前日來多數出廻りありし機先きとて自然買氣の進まざる爲め市況引立たず然れども其後朝鮮本米價の氣配りに連れ一般の人氣活氣を帶び來たれるより自然手持筋の賣り急がざるに依り市況弛まず其後の輸入は北海産五百俵なり

▲朝鮮一等白米（當用）十三圓五十錢　▲同二等白米（當用）十三圓三十錢　▲同二等白米（當用）十三圓　▲宣川大豆　八圓七十錢　▲同　九圓十錢　▲長淵大豆　九圓二十錢　▲同　八圓五十五錢　▲倭舘六豆　八圓六十錢

◎木浦（二十二日の穀物）　▲米況　時節早の走り相場に釣思惑の向もあり一般に引締めたるも強氣配限合なり検査後合格米の出廻り弗々現はれ十圓五十五錢にて二百餘日本低飛切八十五錢にて百三十中上より桂山へ五十五錢にて百許り八島より藤井へ同値にて百、八島方大井へ白米七八十俵十圓五十五錢にて八島より桂川へ吟商談出來せり粒の出廻りは二千に上り九十五錢より三圓見當次物七十錢好況なり△如上の景況にて當市場檢米實施以來稍好調なる取引あり日た經ろに從ひ檢米の手心も知れ新相場現はる可し

京城正米

▲前米は一高一低の裡にも依然底意の堅調を示し動もすれば返に一爆騰あらんかの形勢なる上正米は其後稍々新期注文入込み筒米所の手薄へさ…船腹の不足に應じ新れつゝある勢にて其上品薄の關係より次第に出廻りの鏡あるに連れ益々人氣を強むる一方にて相場も昨十錢方を引締め來又々朝來の唱へは改良物九圓九十錢次品九圓四十五錢並品九圓十錢見當也

●今村覺次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長三三七番　三六八番　電略イ又ハ「イマ」

南大門の廻米

島山玄米	二九五叺	島山玄米二〇叺
讀政府	一八〇叺	大邱荏子三八叺
天安	一四七叺	金泉胡麻四四叺
天安白米	一四叺	安蚕 二八叺
天安	三六叺	新磯州胡三三叺
天安米	二六叺	始興 一五叺
讀政府	二四叺	沙里院 二六叺
金村白米	二七叺	金村白米 五六叺
平澤	一九一叺	鳥致院 三〇叺
平澤	一九一叺	水原白米 二〇叺

仁川現物市場

△初雨天の爲入津なし　△正米雨天にて午前中商談行はれず氣配定らざる模樣

仁川期米

▲二十五日前場　一錢安の入電　前寄十四圓六十一錢さ昨止より一錢安となり當地も三節五十六錢と安移りに九圓八十一錢より九十三錢と躍進引先九圓七十四錢と五錢安に寄付三錢と一歩引弛みたるも買物多く八錢と引込した折柄大阪跡六十八錢と高移りに八十五錢と上伸したるも戻りは依然賣物多くヂリ〳〵七十九錢さ押し結局保合の散會

▲二十五日前場　當限⊖十圓〆五錢　中限⊖九圓八十一錢八錢平均値八十二錢⊜九十錢出來高千百五十石△先限⊖九圓七十四錢三錢四錢五錢平均値段九十三錢　出來高千百五十石…

市場零聞

△前場の商戰　千三百石賣⊖二千三百石賣…

仁川米豆取引所

廿五日の一月限

前場　寄付　高値　安値　引〆　出來高

平均値段		
一節	九圓七十四錢	九圓七十九錢
二節	九圓八十二錢	九圓八十一錢
三節	九圓七十五錢	九圓七十一錢
四節	九圓七十四錢	九圓八十錢
五節	九圓八十錢	九圓八十錢

出來高　一萬四千七百石　取組高　一萬九千五百五十石

	廿四日後場出來値	前日比較
十一月限	九七八	五安
十二月限	九七八	五安
一月限	九九七	一三安

△形勢一變の兆　當大阪の跡安を受けたる當地は在外底固く頭の…

▲三期遂に逆鞘　當限十中限九圓九十錢先限九圓七十錢三錢と逆鞘を示す…

內地の先高理想に反し目先正米を本位とし人氣は出盛り期の米高…

等閑に看過すべからざる當中の活躍に決…

北濱だより

諸株式の活躍に先だつて砂糖株は既に昇騰して居る爲めに昨今は買物の入込んで居るので諸株式に比せばポンヤリの商状であるか大體に營業成績の良好は明し得らるべきであり未だ買餘地のないといふ値頃でもないのだから利喰の買物が一順すると同時に諸株式の買上げらるゝ丈け同株は又た割安となつて再び買氣附けば漸騰するであらうから昨今の商状を眺めて同株は既に頭を附けたと賣込む事は考へ物であらうと想はれるのである

田中仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長一五一二八番

●松田式ポンプ

御申越次第目錄送呈
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目
釘本藤次郎商店
電話四五三七七四番　振替京城二五六番

米豆仲買店

優等清酒　一鶴　本莊酒店

滿洲五龍背溫泉
▣安奉沿線五龍背驛を距る二丁
▣閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
▣風光絶佳にして一大樂園地なり
▣諸病に特効あり理想的療養場なり
▣宿泊、下宿、自炊、各種の設備あり

京日仁川代理部　仁川濱町

米國ビグロートラップ會社製
獸類捕獲器　壹個壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械

於御大典記念博覧會　金牌受領
御かまぼこ司　京城南山町二京城券番　電一三八二番　松井商店

新龍山三角地の
むしぶろ
どんな病にも能く効く必ず一度御試しなさい

下總國野田町
茂木七郎右衞門釀造
京城特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

最上
キハタク印
醬油

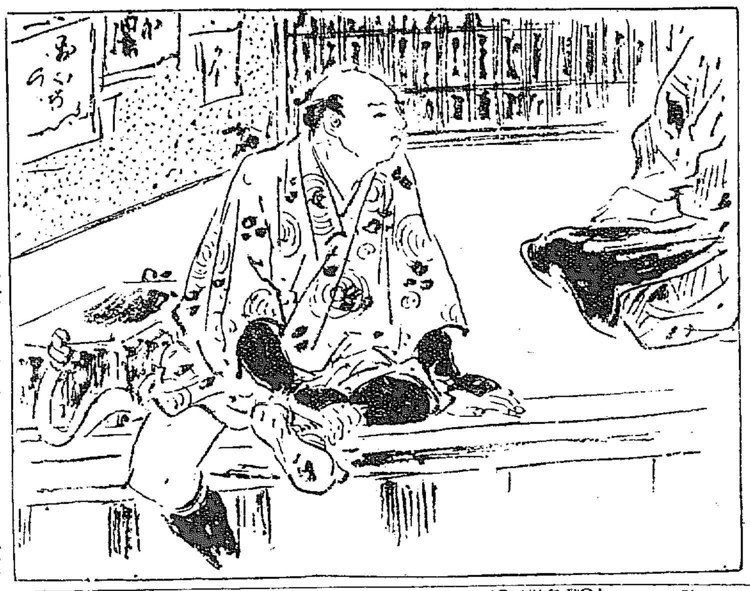
醬油の撰擇を誤る年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハタク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

越後大評定

第五十四席 早川貞水口演

桃井の苦心

三『御免下せえ、つい神田の多町と開いて、友達に會つたやうな氣がしてゐれえ調子づいて、飛んだ失禮を云ひました、ヤア親方斯うなれば希うか心やすくして下せえ 碇『心やすくするとも、お前此處でなんだ、飯でも食ふなら、己の所は大した物はねえが、惡食は魚の一疋に香の物ぐれえはあるから、何日でも遠慮なく行つて來な、だがお前、神田三河町は何丁目だえ 三『二丁目で 碇『何家の子分だ 三『エー上田屋政五郎の子分で 碇『然うかね、上田屋は宜い顔だ、何うしてお前此方へ來たんだ、三『それが又此方へ來る譯があるんで、親方の眞似をする譯ぢや御坐いませぬが、人の前で言ひ惡い話で御坐んす 碇『ム 三『親方の家の子分の友吉ツて者がある、其奴の嬶が、ちよつと小面の剝けて、氣轉の利いた奴で 碇『ム 三『其奴がその友吉が少しマア惡い方へ凝りましたんで…… 碇『ホヽ成程 三『其樣な此樣で無遮苦遮してる所へ、私が心やすい所から到頭お前さん出來たんで 碇『オイオイ飴屋さん、直ぐに敵討と來たね、戯談ぢやねえ、それぢや間男だ、間男は罪だ止しな 三『止しなつて、出來て了つたんで、所が其事が露現して斬るの撲るのとなつた所へ、人が入つて口を利いたが、友の野郎むかつ腹アたつて、何うにも斯うにも治りが付かねえ、少し氣を拔いて來ようと思つて、上方筋を遊び、其から北國筋は初めてだから、加賀の金澤へ行つて來たんですが、思ひの他金澤は良い所で御坐いますから、暫く浮浪浮浪して居ましたが、既う踊り風が立つて來たから、此福井で少しばかり遊んで、其から敦賀へでも往つて漸次躇らうと、斯う云ふので御坐いまして、此御城下へ來て、斯うやつて見ると、なか/\廣大で御坐いますから、未だ寸間かへられませぬ 碇『江戸にや何事か變つた話はなかつたかえ 三『江戸にや親方、別に變つた話はムいませぬでした 碇『如何だえ、御當家の殿樣は、斯うやつて、五重の天守を御拵へになるつて長い間石工が入つて石垣を築く、木挽小屋が出來て木口を切出す、大變な騒ぎだ、吾々の考へぢや莫大な御金が掛るだらうと思つてゐる 三『然うでムいませう 碇『此樣な事は江戸ぢや何んとか云つて居やしねえかえ 三『何う云つてです 碇『人の噂ぢや天下禁制の五重の天守を御許しも受ずに殿樣が御拵へになるから、今に大公儀から御手勢を御向けになるつて大變な評判、斯うやつて稼業してるもの、實は氣が氣でねえ、未だ江戸から早打がねえか、今日來るか、明日來るかなんて、毎日/\心ある人は心配してるんだ、飴屋さんなんて容子が分らぬかね 三『そりやお前さん、神田三河町の上田屋は、あゝやつて御屋敷の奉公人を扱つて、御大名とも交際もするし、此人入れは大抵上田屋が行つて居ますから、大公儀の事は分ります』



十一月廿七日九星
舊十月廿一日壬戌
本命二黒 坤 閉 赤口

▲二黒● 胸算用の狂ふ事有り 新事見合東方は吉 ▲三碧● 女難盜難用心の日 新事手控ゆ ▲四緑● かん癪を起さず [illegible] ▲五黄● [illegible] ▲六白● [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● [illegible] ▲一白● [illegible] は用心せらるべし

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社特約一手代理店 十一月二十二日全部差替 ○實寫カルホルニヤへ ○歐洲大戰風雲 [illegible] 事大活劇喇叭太郎 [illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四番 [illegible] 熊本白猫傳 [illegible] 新派悲劇親心 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番 十一月廿八日より特別大寫眞提供 [illegible] 女優鬼女 [illegible]

佐久良座 龍山 女流浪界の大關女雲右衛門一行二十五日初日開演毎日午後六時より開場賑々敷く御來場願上候

壽館 壽町 電一○五○ 十一月十九日より ○後藤三代記(吉田勝利)○東京落語即席問答(三遊亭圓松)○義烈百傳(吉田雲峰)○木村長門守、は紬晴 野狐三次(神田伯龍)△紀の國屋文左衛門○をなじみの國定忠次長講二席(吉田虎右衛門) ●木戸錢無料

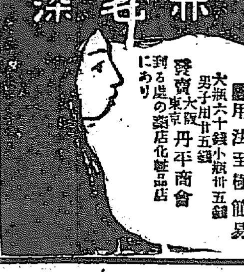
御成座 御成町 電話一九一 二十五日藝題 一番目 五柳軒 二番目 花夜叉 全七幕四場

壽座 本町 電話五七八 十一月二十四日より 日本活動寫眞株式會社 [illegible]

流經新藥レスノリン 月經閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的ヲ達シ流經作用ノ確實ナルコト其他藥ニ優越ス [illegible] 發行所 大阪北區曾根崎上一丁目 常盤藥院 振替大阪二八三七○

六大景品無代進呈 景品 鎖、メタル、磁石、ヒモ、種目鹿皮、環皮、以上全部進呈 製流 正銀側時計殆半額 懐中品は瑞西國時計會社特製正銀側 [illegible] 參圓五拾錢 貳圓五拾錢 四圓五拾錢 [illegible] 大阪瓦屋町四番丁 日野時計店

せんき、せんしやく腰痛の良藥にて必ずきゝめあり(各地藥店にあり) 本舖大阪西區新町通二 [illegible] 腰痛湯



赤毛染 ナイス
色も艶も申分ない しらが染はナイスが第一
ナイス五大特色 一、僅二十分で染る、一、剝げず褪めず、一、永々黒く美しく、一、艶々しく、一、鬢枕に浸着せず、一、用法至極簡易
大瓶六十錢 小瓶卅五錢 男子用廿五錢 發賣東京大阪丹平商會 到る處の藥店化粧品店にあり

晩秋長夜の家庭讀物

松林伯知 桃川如燕 講演 全一冊

御前講談

定價金七十五錢 郵税金十錢

好評再版

本書は近世講談社會の泰斗たる故の松林伯圓、桃川如燕の二人が、曾て辱くも先帝陛下の御前に於て口演し、御嘉賞を蒙りたる講談楠正成、楠泣男、長篠籠城鳥居强右衛門、山内一豐の内室、大閤中國引返し、伏見地震加藤清正、木村長門守、中山大納言の八種を、その高弟たる松林伯知、二代目如燕が更に講演したるものなり。悉く是れ忠烈の美談にして、此を讀みて感動せざる者なかるべく、通俗教育の資料として、家庭の讀物として當時此書に勝れる講談なかるべし。

好評又重版

早川貞水講演 全六冊

日本武士道 赤穗義士

定價一冊金四十五錢 郵税一冊金六錢

(第一編) 堀部安兵衛、大石瀬左衛門。
(第二編) 勝田新左衛門、三村治郎右衛門、岡島八十右衛門、間重次郎、千馬三郎兵衛、赤埴源藏、杉野重平次。
(第三編) 前原伊助、横川勘平、神崎與五郎、矢頭右衛門七、倉橋傳助、早水藤左衛門、茅野三平、武林唯七。
(第四編) 大高源吾、原惣右衛門、磯貝十郎左衛門、吉田忠左衛門、中村勘助、松村父子、片岡源五右衛門、岡野金右衛門、矢田五郎右衛門、木村岡右衛門。
(第五編) 大石内藏之助、近松勘六、間喜兵衛父子、菅谷半之丞、小野寺幸右衛門、貝賀彌左衛門、奥田父子、小野寺重内、冨森助右衛門。
(第六編) 義士誠忠錄、赤穗城渡、南部坂雪の別れ、泉岳寺評定、討入。

本書は最も信憑すべき資料を基とし、之に貞水獨得の輕妙洒脱の快辯を以て、月雪の中に命を捨て、死處を得たる四十七士の面目を、面白可笑しく説きたるもの、平易通俗にして分り易ければ、婦女老幼の讀物としては上乘無二なるのみならず、芳烈悲壯なる言句人を魅して感慨胸に迫り九腸寸斷の思ひあらしむ。本社は通俗教育の好資料として、之を各階級の家庭に推薦す。希はくは一本を藏せられよと云爾。

桃川如燕講演 全一冊

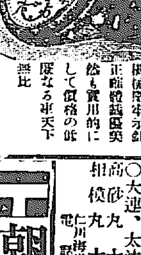
女義士傳

定價金五十錢 郵税金八錢

好評三版

天下泰平の元祿時代に、我兒を勵まし夫を勵まし、亡君の爲に家來たる道を盡さしめたる赤穗浪士の母や妻女は、其時代には新らしい女であつたに相違御座いませんとは、講演者の言ふ所なり、堀部彌兵衛の妻、堀部妙海尼、勘平の姉菊江、瑤泉院、武林唯七の母、赤埴源藏の妻、茅野和助の妻、原惣右衛門の母、間新六の伯母、山岡覺兵衛の妻、良雄妾かる、以上十一人の賢母節婦が花も實もある、勇ましく面白き物語りにして、女子の鑑として千載に傳ふべき好書なり。

大賣捌 京城太平通二丁目 振替京城三○○番 ▲郵税本社負擔▼ 京城日報社代理部



●新荷著アンクル式片側懐中時計● 機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
[illegible]
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッシー商會 京城本町二丁目電話九七二番

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 場主獸醫肥塚正太 京城東大門通四 東亞牧場 (電話五二二番)

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 吉丸 十一月廿九日 日後四時出帆 君が代丸 十二月二日 日後四時出帆 神代丸 十一月廿九日 日後四時出帆 大有丸 十二月五日 日後五時出帆 ○第二太湖丸 群山、大阪行 十二月 日 日後四時出帆 海丸 仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て御切符發賣仕候
○外航所屆航路(郵神航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 宮島丸 十二月四日 鶴丸 十一月廿六日 午後五時 油頭丸 十一月三十日 午後出帆 温州丸
○木浦、釜山、長崎行 東丸 十二月九日 午後二時 安東丸 天智丸 十二月三日 午後出帆
○鎮南浦、大連行 安東丸 十二月五日 午後二時 天智丸 十一月廿八日 午後出帆
○木浦、神戸、大阪行 薩摩丸 十一月 日 午後五時
△群山、釜山、濟濟行 千珠丸 十一月廿七日 午後四時 チヨイサン丸 十二月八日 午後出帆
○大連直行 千珠丸 十二月十五日 チヨイサン丸 十二月二日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) 久丸 十一月廿八日 宮丸 十二月七日 午後三時出帆 大智丸 十二月十四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十二月四日 午前十時 新高丸 十二月十七日 出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆前約一時間前御乘船御願申上候 ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二○五番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八○番

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十二月十四日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十二月二日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月卅日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十二月九日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十二月一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十一月 日後六時出帆
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行 大興丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
本船取扱店 釜山本町五丁目 大池回漕部

阿波國共同汽船仁川出帆

共同丸 ○芝罘、大連行 十一月 日 日前九時出帆
第一快鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 十一月 日 後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を経て雄基行 十一月 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城代理店 河村運送店

日本郵船仁川出帆

○三河丸 大連、秦皇島行 十二月 日 午前六時出帆
○高砂丸 大連、太沽行 十一月 日 正午出帆
相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番 二三三番 線路及社外船と荷客連絡の便あり、其の他支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會を乞ふ
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店

全羅丸 十一月廿九日 京畿丸 十二月四日 黄海丸 十二月八日 咸鏡丸 十一月廿八日 釜山發(釜山より各港寄港雄基間)
穩城丸 十一月廿九日 昌平丸 十二月三日 鏡城丸 十一月廿五日 元山發(元山より各港經由雄基行)
平壤丸 十一月廿七日 元山發 忠清丸 十二月五日 元山發(城津、清津、直航行 復航釜山經由門司)
永興丸 毎月廿八回 元山發(北久咪、五里浦行 又は長箭延長)
嘉島丸 十一月廿七日 釜山發(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
江陵丸 義陽丸 毎日 (釜山浦項)發(長生浦方魚津各港)
三浦丸 十一月廿九日 釜山發(長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行)
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶興丸 三日目毎 木浦發
順天丸 [illegible] 木浦發
慶興丸 十一月廿八日 木浦發
公州丸 十一月廿六日 木浦發
公州丸 十二月一日 木浦發
永信丸 十一月廿六日 仁川發
江原丸 十一月 日 仁川發
龍水丸 十一月廿七日 仁川發
晋州丸 十二月一日 仁川發
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發

京城日報
第三版
二十六日朝刊
(第二千九百五十四號)

京城雜筆

山縣生

▲我等の住居しつゝある世界の廣さは限りがあるが人類の繁殖は限りが無いやうである、殊に近世醫學衛生學の進歩と共に、出産率は次第に増加するも、死亡率は却て次第に減少するが故に、人類は益々増加するばかりである

▲此狀態が永續するに於ては、果ては狹き世界に於て人類が相殺し相食むことなしに生活することが、出來ない事になるかも知れぬ、何となれば土地よりの生産は限りあれば、食物不足の時期來るべく、其時強者は弱者を滅ぼして、自ら衛らねばならぬことになる故である

▲從來でも大抵の戰爭は土地爭奪の爲めに起つた、今次の歐洲大戰爭も畢竟歐洲の人口が増加して、之を支持するの必要あるより列強が互に其領土を擴張するに焦心し、其結果利害の衝突が起つたに他ならぬ

▲此見地より考ふる時は戰爭は未來永却絶ゆることはあるまい、獨逸主義者の主張する如く、必要の前には法律も道徳もない、國際公法も仲裁條約も諸國民が如何にして何處に食を求むべきかといふ問題の起る時には、一片の反古紙として取扱はれるのである

▲かく考ふる時は我等は人類の將來について、甚だ悲觀せざるを得ぬ、我等の理想とする眞の文明は遂に此世に於て實現することが出來ぬであらうか、總ての人衣食足り、不平不滿なく、相頼り、相愛し、平和に幸福に生活するの時代は遂に來らぬであらうか

▲此問題については定めし意見多様ならん、思ふに多くの人けかゝる黄金時代の途に來るなきを唱ふるならん、も余は然かも悲觀せず、寧ろ人類の將來を樂觀する者である、其理由は二つある

▲第一は我地球は狹しと雖も、阿弗利加、南北亞米利加及び濠洲に猶ほ多くの餘地がある、若し歐洲諸國民が今次の大戰爭に投じたる、又投じつゝある幾百萬の人命と幾億萬の金貨とを未開の土地の開拓に費したならば、今日の慘狀を現ずるなく、諸國民各々其過剩の人口を移住せしめて、平和幸福に生活することを得たるならん、彼等私慾に驅られ嫉妬に陷えて、相排擠し、遂に相殺し相食むに至る、天の罰といふ他はない

▲今次の大戰爭によりて人は戰爭の慘害の如何に大なるかを明瞭に了解し、少なくも或時期の間は之を避けて、破壞よりも建設に力を注ぎ、未開の土地を開拓して過剩の人口をこれに移すことを努むるならん

▲第二の理由は科學の進歩が人類の食物問題を滿足に解決するの見込があることである、少量の食物によりて充分の營養を得るの途が發見さるることもあらう、現に斯の種の研究は多少西洋の學者間に行はれて、既に成功の曙光が幾分か現はれたやうである、猶ほ又土地の生産力を二倍にし、三倍にし、數倍にするの方法も發見さるゝであらう、これ亦西洋の學者が熱心に講究しつゝある所で、現に英國の植物學者ボトムレー教授は近く植物の成長を迅速ならしむると共に、其生産額を増加せしむるの方法を發見したと云ふ

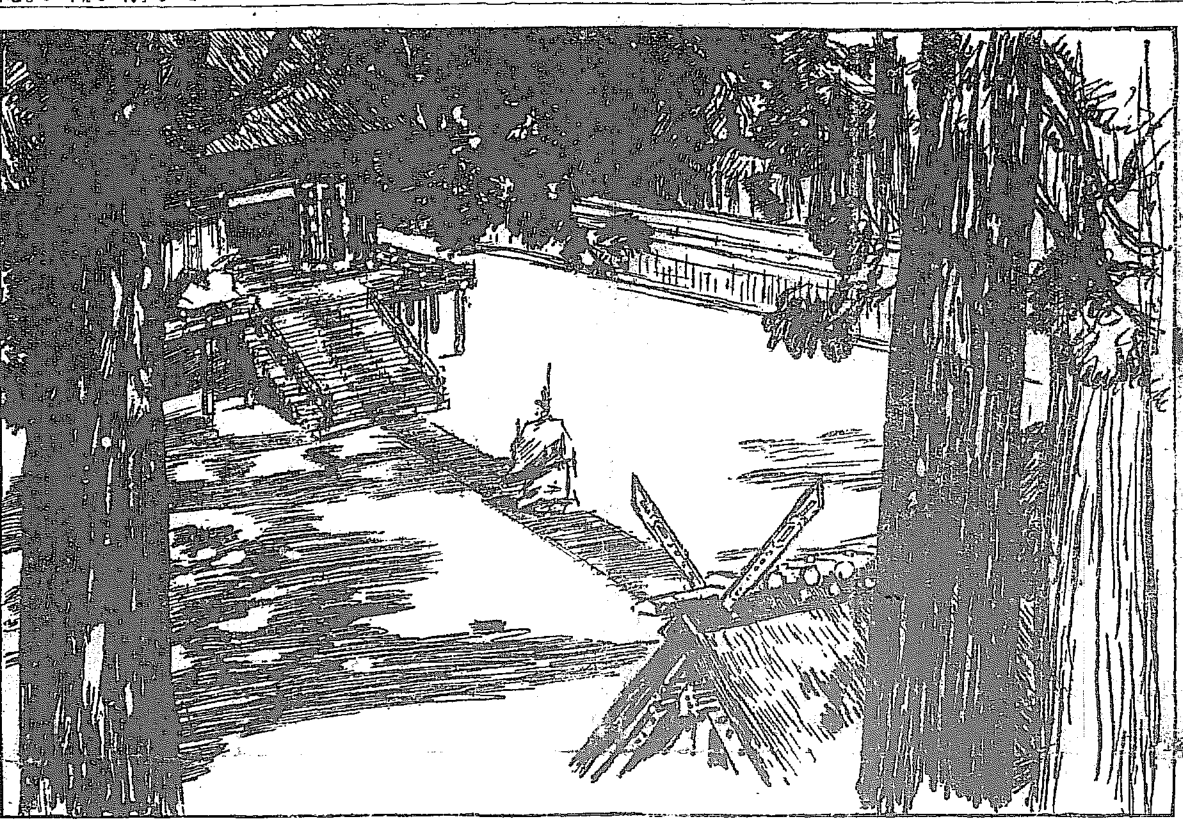
▲戰爭の最大動機たる食物の問題が斯の如くにして解決さるゝと共に、人類の道徳觀念が進まば、私慾、嫉妬、人種的憎惡、其他總て人生を兇ふ所のものも消滅するの期至るならん、人類の將來は悲觀するを要せざるやうである

瑞光餘洩

小松綠

(三)宿雨忽晴

七日は御大禮參列者の最終出發日なりしかば、大抵は其の以前に乘車せしと見え、釜山迄の汽車中、京都行は予一人のみ、但だ是れも止むなき事故ありて遲れたりとて金泉より本田水原勸業模範場長の突然乘込めるに會ふ、旅は道伴とて何とはなく心強き思ひす。連絡船は弘濟丸にて新羅丸高麗丸よりも噸數稍劣れども落付の良きことは彼等に優れり、殊に思ひしよりも風凪ぎ波靜かなれども夜に入りて又も腸調宜しからざれば氣魂又驚き、此の方に氣を取られて却つて少しも船の動搖を感せず、船の疲れもあらむ、割合に好く寢ねたり。翌朝下關發九時五分の特別列車に乘る、是は御大禮參列者の爲に特に仕立たるものなれども、多くは雜踏を豫想して一二日早く行きたれば、普通車の混雜せるに引返へ、特別車は却つて幾多の餘裕を存せり、下の關よりは石塚農商工、大屋鐵道、池田遞信の各長官と予等一行、貸切客車に陣取り、其の他に御大禮參列者なきに非ざりしが、孰れも他の客車に分乘したれば、我等は踞座橫臥心の儘なり、普通列車は翌午前十二時三十分ならでは京都に到着せざるに、此の特別汽車は一時間早くて十一時三十分に到着す、うれしやまだ八日の中なり、豫定の宿所澤文別邸に入る、八疊又は十疊に三人宛の割當にて其の窮屈言はむ方なし、予は白井陸軍、森海軍の兩少將と合宿することゝなり居りしに、森君八疊に三人は軍艦にても無理なりとて自ら暗燈部屋を求めて去る、而して白井君は十二日ならでは來らず、予は結局一人にて一室を占領するを得たることそ僥倖なれ。七日朝鮮は曇、八日下の關は小雨、途中も亦同じ、京都に入れば秋雨蕭々たり、九日も亦休まず、聞く七日主上御入京の時、雨歇み天晴れたれど其の前後は斯の如しと、九日は終日引籠りて休養す、御所の伺候を遠慮し寺内總督(は森武官に事情の傳達を賴み)獨り翌日の天候と微身の健康とのみに心を惱ましぬ、夜半起き出でゝ試みに窓を開けば處々たれども遙かに數星の明滅を望む、思はず快哉を叫ぶ、一昨日昨日は言はずもがな只今までも降雨頻りなりしに、忽にして雨歇み星出づ、天も此の千歳一遇の大禮を壽がむとて陰雨を去りて陽光を送らむとするか、嗚呼聖天子の威徳や洵に盛なる哉。心清爽しくなりては賤恙の身に在るをさへ覺えず、一睡の程もなく、女中等あはたゞしく戸を叩きて起きすやといふ、何時なるやと時計を見れば實に午前三時三十分。



外宮御親謁　平福百穗謹寫

波斯の向背

獨逸の陰謀外交

獨逸は得意の外交手段を以て今や思ふ存分に巴爾幹を攪亂し更らに波斯に迄其の毒手を出し回教徒を煽動して印度後方を脅かし一方安南等を根據とせる獨探等と相應じて印度の擾亂を目論見づゝあるは最早公然の秘密として傳へられつゝあり之れ英國の爲には頗る變事に屬し英人の大に心痛しつゝあるは洵に最千萬の事なりとすされば波斯に於る獨逸外交の成否は由々敷大事を惹起すべく今其の情况を見るに獨墺が一度其の魔手を波斯に伸すや英露兩國は如何で多年扶植せる勢力を根底より覆へさるゝを坐視するを得んや露國は直に波斯駐屯軍をして速にカズビン市よりテヘランに出動せしめ萬一を警戒したれば土耳其大使及び獨墺公使は遂にテヘランを退却するの止なきに至り一時其の努力も全然失敗に歸せり抑も

▽波斯は一獨立國の觀あるも其實英露兩國より保護と稱するも差支へなき迄に制附せられ千九百九年七月に勃發せし六革命の如きは全く露國外交の成功に終り先帝モハメット、アリーの如きは露國オデッサ市に逃れ露政府の保護を受けつゝある程なり現皇帝アーメット、シャーは年齒尚ほ若く皇帝とは名のみにして攝政アヴール、カシム汗

▽皇帝の實權を握りつゝあり殊に同攝政は英佛に遊びて有名なる親英親佛家なるも頃來國内人心の英露の野望に慊焉たらざる點あるを早くも看取せし獨逸は其の辛辣なる外交手段を施し苦肉の策を以て攝政アヴール、カシム汗を排斥し排露英派の首領たる現陸相マストゥキイエル、メマリックを推し機會の來るを待つて土耳其と同一の運命のもとに大戰亂の渦中に投ぜしめんと計りたるも四國の事情に通ぜし其の大野心は見事に水泡に歸せしも蛇の如き獨逸は却々之等失敗に懲ず更らに飽迄も波斯を惑亂せしめんとし權謀術數至らざるなく遂に首部テヘランは恐慌の府と化し獨墺の陰謀到る處に行はれ煽動されたる土人は英國商人及び領事を死傷せしめ事態日に危險なるより

▽波斯王も亦蒙塵せんとするや露國公使は大に狼狽し國王に謁して蒙塵を諫言せしも遂に聞れず國王は本月十五日閣臣と共にテヘランを去れり之れ即ち國王が一時避難と稱せらるゝも閣臣中には獨墺の手によつて攝政たらんとする親獨派の領袖陸相マストゥキイエル、メマリックの如きあり又た多年英露に對して事あれかしと待ち構へ居れる千一百萬の回教徒のあるあれば波斯に於ける獨逸の外交は先づ成功に近きものありと云ひ得べく更らに巴爾幹の形勢今日の如くんば愈々波斯の獨墺に傾かんとするは無理からぬ次第なるが這は英國に取りてのみ頗る重大なる許りならず波斯の向背が極東に關する處多大なれば決して對岸の火災視すべきにあらざる也

下關期米

△後場暴騰す

△遂に上放れ乎

公告

左記不動産ハ破産者大阪市南區千年町十四番屋敷金田春吉所有ノ處破産主任官ノ認可ヲ得之ヲ競賣ニ付ス
競賣期日ハ大正四年十二月十一日午前十時トス
競賣ハ京城地方法院執達吏山本太郎ヲシテ同事務所ニ於テ之ヲ取扱シム
保證金ハ競賣申立額ノ十分ノ一
金田春吉破産管財人 辰市本丸

京城府元町一丁目二十七番地ニ建設
(一)甲條 木造瓦葺二階建本家一棟 建坪三十四坪二合五勺 外二階坪十二坪 此最低競賣價額七百七十九圓十錢也 此家屋稅金八圓也
(二)同地上建設丙號 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪六坪 此最低競賣價額金十二圓六十錢也 此家屋稅金五十錢也
(三)同地上建設戊號 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪四十九坪 此最低競賣價額金三百六十四圓也 此家屋稅金八圓也
京城府日ノ出町十五番地上建設
(四)木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十一坪二合一勺五才
(五)木造瓦葺平家建一棟 建坪四坪
木造瓦葺平家一棟 建坪四坪七合五勺
此最低競賣價額三百六十七圓五十錢也 此家屋稅金二圓也

酒造場讓渡
明治四十一年の創業酒造場にして確實なる且銘酒を澤山現狀の儘讓渡す希望者は來談あれ遠方は電報にて紹介せられよ至急を要す
京城新町 岩田酒釀造場 電話九二四番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

少年 少女
十二月號 各十五錢 郵稅一錢
―少年の讀物―
奇々怪々 幽靈事件 霜面冠者
少年の夜襲 松美佐雄
大懸賞當選者
―少女の讀物―
幾つ寢ると 栗原玉葉
今年の繪暦 吉川秋光
拜領の指環 探偵奇譚
東京 時事新報社

開店七週年記念
福引景品附大賣出
期間 十一月廿日より十二月十日まで
一御買上高金壹圓毎に壹本贈呈す(但空籤なし)
一即時現品引替御渡可申候
京城本町二丁目
[illegible]呉服店
電話一八〇一番
振替京城一五六番

御大典記念メタル 無代 無送料 進呈
十二月十日迄に本會に入り實業講習録を讀む方へは本會謹製の記念メタル(代價金五拾錢)を無代無送料にて進呈す。是諸君が國家の大典を記念として智徳を磨かれんことを冀ふの意に出づ。只今入會する人は先一ヶ月分(五拾錢)の會費を納めたる丈にて萬代の記念品を無代にて得らるゝ事となる躊躇する勿れ機會は再び來らず!!
(實業講習録の見本は申込次第進呈す)
東京市京橋區 實業之日本社
帝國實業講習會
(電話京橋八七四番 振替東京四〇一六)

國産
御大典記念發賣
森永萬歳スガー
本品は精製蜂蜜を主要原料として調製せるものなれば風味よく滋養に富める家庭用の良菓なり
ポケット入 金十錢
△森永ミルクキヤラメル製造元
東京 大阪 森永製菓株式會社

◎明年度の豫算更正
朝鮮補充金百五十萬圓を減ず

政府明年度の豫算は去九月の閣議に於ける決定額は歳入出總額五億五千八百萬圓なりしが其後特別財源に據る電話交換及び擴張費二百五十萬圓を追加したる爲め五億五千九百餘萬圓に增加したり然るに各殖民地中朝鮮及び臺灣兩特別會計の節約額は四年度に於て不能に終りし結果五年度豫算に於て朝鮮は一般會計よりの補充金百五十萬圓を減じ臺灣は砂糖業分擔金の繰入れ替四百四十萬圓を減じ朝鮮臺灣に對する公債の繰入額約三百萬圓を減じ關稅豫算額の更正と戾し稅關係に基き約百三十萬圓を減じたることにより約六百萬圓を減少したり斯くて豫算總額は一方に於て前記電話擴張費百二十五萬圓を追加計上せるを以て差引約五百萬圓を減じ全體に於て約五億五千三百五十萬圓に更正せられたり(東京特電)

◎日本の對英支同盟態度如何

英支同盟に就き某英人は日本が之れに對し何等の行動を執り居らざるより見て未だ正式交渉進み居らざるを斷し若し日本が同意せば支那に於ける獨逸の運命風前の燈の如くヒンツエ公使の辣腕振ふによしなく所謂抗議の如き一文の値なかるべし只この問題は世界の大問題特に日本に至大の關係あり支那の態度より却つて日本の態度こそ注目に値すと(北京特電)

◎支那加盟問題と米國
米國新聞界は猛烈に反對す

英露佛三國が支那を聯合軍側に誘引せんとするに對し米國政府は嚴に口を緘して贊否の意向を明かにせざるも新聞紙は筆を揃へて猛烈に支那の聯合軍側加入に反對しつゝあり愈々正式の談判開始さるゝに於ては恐らく米國政府が默過するが如きことなかるべしと豫期せらる(東京特電)

◎英支同盟は虛說ならん
日英離間策には非ざる乎

外電は英支同盟條約倫敦に於て協議中なりと傳ふるも其筋には未だ何等の報道なし日英同盟の存在する限り日本に沒交渉にて斯かる問題が提出せらるゝ筈なく元より信憑すべきに非らず又支那の排日は策士の暗中飛躍ならん乎彼等は外交界の混亂に乘じ聯合國の支那引入問題を背景とし斯かる說を流布し日英間を離間せんとするの奸策に非ざるかと某外交家は語れり(東京特電)

◎任命範圍決定
政府委員と次官

政府委員任名の範圍は二十三日の閣議に於て正副參政官は勿論各局長會計課長等任命のことに決定し事務次官は一切各省共任命せざることに決定せり(東京特電)

◎智利公使葬儀執行

既電の如く京都に於て客死したる智利國公使ホーター、エルボッソ氏の葬儀は二十五日午前十時築地天主教會堂に於て執行されたり此日長き邊りよりは公使の靈前に花環一對を御下賜あり上稻葉式部官を又皇后陛下には東久世主事を差遣され特に國葬の禮を以て近衛步兵三聯隊を儀仗兵として列せしめらる、式は午前十時に始りたるが黑き喪服を著けたる大司教ペトロレー氏聖壇に進み肅やかなる讚美歌の裡に莊嚴なる式を行ひ靈柩は未亡人令妹等に護られ零時四十分東京驛より橫濱に著し米國海軍病院に安置されたり尙當日の會葬者は伏見、閑院、久邇、朝香の各宮殿下の御使を始めとし國務大臣、寺內總督、各國大使公使等三百餘名なりき(東京特電)

東京發別電

▲外交界混沌 三國の支那誘引に就て米國は默視せざる[illegible]

不破棄の約束を樞密院に諮問せざりしは政府の手落なりとして政府は樞[illegible]

▲山縣老公歸隊 山縣老公は[illegible]

協商中なり[illegible]

◎借替發行證劵

二十六日借替發行の大藏證劵七百萬圓は利率九厘償還期日は明年二月二十五日と定められたり(東京特電)

◎御慶事は今明日中か

國母陛下には二十五日午後一時半迄はいと御健やかにて御分娩の御模樣あらせられず德川太夫の談に依れば侍醫拜診の結果今明日中に御慶事あらんかと拜察せらる(東京特電)

列强大戰

▲塞國政府移る

巴里來電に依れば塞耳維政府はブリスレンドよりアルバニヤのスクタリに移されたる旨發表せられたり(紐育報)

▲獨艦沈沒

ロッテルダム來電に依れば獨逸最新の弩級戰艦一隻は十九日波羅的海に於て英國水雷に觸れて沈沒し卅三名を除き他は救助せられたり(紐育報)

▲獨艦復擊沈

倫敦クロニクル紙露都特報に依ればウインダウ附近に於て獨逸の露國水雷艇は獨逸一巡洋艦を擊沈せり乘組員二百名中廿名救助せられたり(倫敦電報)

雜報

◎英支同盟說に就て
未熟なる報道

英支同盟が既成の日英同盟のあるにも拘はらず日本を出し拔いて爲し得るか怎うかと云ふに理論上から言へば差支も無いが情誼の上から爲されない事だ理論から言つても英支同盟が殊に對獨のみの問題で然も其れが更に日本に關係の無い事であれば兎も角も恐らく支那の問題にして

▲日本に關係の無い事と 言つては有り得ないのであらうから若し英支同盟が出來るとすれば日英支三巴同盟と爲るか然らずんば範圍の狹い英支同盟に終り日本と支那の關係は日英同盟、英露協商の日露の關係の樣になるかも知れない。夕刊に報せられた英支同盟說に見に種々不備の點がある一概に言へば未熟な報道と言はねばならぬ例へば『英支協同して獨逸の勢力を支那より驅逐す』と言つても是れ既に日本に據つて爲された事である最も明瞭な具體的事實は靑島の戰である今更に英支協同して獨逸の勢力驅逐でもあるまい又『英國は獨逸の海軍を牽制して東亞に侵入せしめざる義務を負ふ』と言つても是亦既に日本でして了つた事だ

▲東亞と言つても 何の程度迄を誨意するのかは不明だが支那に關係のある東亞で日本に關係の無い處は無い筈だから日本に關係なくいと云つてもいゝ譯だ、更に支那の英支のみで守らねばならぬ東亞は無い對獨負債乃至償金の問題にしても支那が獨逸に對して戰を宣するに於ては總て從前の條約は破棄せられる譯だが單に英支同盟の成立のみに據つて之等が無効に歸すると云ふ譯にも行くまい其れから『歐洲戰爭終結後支那が國際會議に協商國同樣の發言權を有す』と言ふ問題は決して英國單獨で決せられる問題で無い事は言ふ迄も無い事だ——彼是通覽するに若し斯の如き類似の事實があつたとしても報道が餘りに斷片的で全斑を卜する事も出來ず暫く後報を待つより外策はない(小松翰長談)

◎古今に絕した一事
關屋學務局長謹話

神々しさの至り崇嚴の極みといろいろに其心持を言ひ現はさうとしても到底よく之を言ひ現はす事は出來ない思ふに到底言ひ現はす事の出來ない心持なのだ『何事のおはしますかは知らねども難有さに淚こぼるゝ』と云ふ歌があるが今更乍ら誠によく歌はれたものだと思ふ私の御大典に參列して得た感じも

▲唯此歌の意其儘 で又多くを語る必要もないと思ふ夫れは全く言ふべからざる感じなのである其裡から强いて語らしめたならば私は二つの特に感じた事がある一は今上陛下の玉躰殊にお健やかに亙らせられた御事で六日御式を初められて以來連日朝は夙くより夜は晚く迄御勉遊ばされ殊に大嘗會には夜を徹して御祭り事につくさせられたにも拘らず更に何等の御障りもなく御豫定の御式典を終らせられた事である私は賢所、紫宸殿大前の儀に列した際 陛下出御に會ひはしたが其際は『ケーヒ』(警蹕)の聲がかゝり其れと同時に最敬禮をするので御近くで

▲御姿を拜する事 も出來なかつたが總ての御式を終らせられた夜宴の際は一時間餘りいと御滿足げに太平樂を御覽遊ばさるゝ御姿を遙に拜し奉つて其御健かにして總てのものゝ御姿の先帝陛下に御似通ひ遊ばされ龍顏殊の外御美しと拜しまつつたのは私の心より喜悅に堪へないで居る處である尙一つは古來即位の御式は時代々々に依り盛衰もあつたらうが今回の如きは思ふに古今を絕へた盛典であつたらう而して朝鮮から參列した私としての最も愉快に堪へなかつた一事は南は臺灣、北は朝鮮の上は總督より下は人民の代表者に至る迄洽く列席して陛下の萬歲を唱し奉つた事で

▲朝鮮の如き許多の貴族も參列し得てゐる之れ實に如何に盛大な御式を擧げられた事があつて

◎會社處分數
弊風漸く革まる

鮮內會社數及び其計畫資本に就きては本紙既記の通りなるが今本年九月末日の調査に依れば朝鮮會社令の施行以來會社設立の申請に對し不許可の處分を爲したるもの四十九件、支店設置の申請を不許可としたるもの二件にして其理由は要するに從來朝鮮人會社の通弊たる會社の設立を以て事業の獨占權を得たるが如く吹聽し愚民を欺き不正の利得を貪らむとするもの、或は事業の目論見確實ならざるもの、成功の見込なきもの或は農事經營の名の下に多くの土地を買收せむとし土地兼併の弊漸く兆はれむとする際、其成立を許可すからずと認めたるもの等なり、近年に至りては此種の會社計畫も漸次其數を減じ殊に從來其例多かりし朝鮮人の會社の如き設立申請は殆んど其跡を絕ちのにして不正の利得を貪らむとするも會社企業の傾向次第に誠實に向はむとするに至れるは喜ぶ可し、又た會社令に依り會社の解散を命ぜられたるもの七件、支店閉鎖を命じたるもの一件あり、何れも朝鮮人又は內鮮人合同の會社にして其內容は不正不當の利益を貪るを主眼とし公益上其存在を認容す可からずと認めたるものなりと

◎陶磁器製造業
優秀原料豐富

朝鮮に於ては各地良好なる陶土に富み就中慶尙南道、河東、山淸地方に於ては內地に於ても殆んど見ること得ざる優秀なる陶土を產し將來陶磁器の製造は頗る有望なる事業たるを疑はず然れども工場の位置及び設備に付き種々の不便を感じ居れるを以て未だ著しく斯業の勃興を見るに至らざるも近來各地に於て漸次本事業に著手せんとする者を生ずるに至れり、目下工場として見る可きものは個人經營としては鎭南浦及び京城に各一箇所、會社經營に屬するもの平壤及び大邱に各一箇所あるに過ぎず、前者は主として高麗燒を模造し嗜好家の愛用する所となり漸次產額を增加しつゝあり、後者は鮮人日用向の砂鉢類を主とし製造に著手せしものなるも大邱に於けるものは內部に紛擾ありて目下事業を中止し居れり、又平壤に於けるものは昨年來資金の充實を圖り設備を整へ當業の發展に努めつゝあり、將來良好の成績を擧ぐるに至る可し

◎市場逐次整頓
規則實施の效果

鮮內各地に於ける日夕の需給其他の商取引は主として市場に於て行はれつゝあるは人の知る處にして其數大正三年末に於て千二百二十八、一箇年の取引高四千三百四十餘萬圓の巨額に上れりといふ、斯の如く市場は朝鮮の商業上主要なる機關たるを以て其新設變更等は從來總て道長官の認可を受けしめ來りたるも何等據る可き法規なく種々の弊害を生ずるに至れるを以て總督府は大正三年九月府令第百三十六號を以て新に市場規則を制定せり、而して

▲市場の經營 は公共團體又は之れに準ず可きものに非ざれば之れを許さゞるを本義とし唯だ委託を受け競賣の方法に依りて水產物を販賣する市場は地方の狀況により公共團體又は之れに準ず可きもの以外の經營し能はざる事情なしとせざるを以て已むを得ざる場合に限り五年以內の期間を其以外の者に市場の經營を爲さしめ得ざるの例外を設けり、又既設の市場にして會社組合又は個人の經營する市場に付きては其既得の權利を尊重し、當分の間引續き之れを經營し得ることを認め從來の市場にして經營者の明瞭ならざるものは總て道長官に於て其經營に當るものを指定することゝ定めたるも急速に設備の改善を圖り或は特別の設備を爲さむとして新に使用料を徵收して

▲人民の負擔 を加重するが如きは之れを避け、別に市場規則取扱手續を定め、施行上遺漏なきを期しつゝあり、而して同令の發布以來各道長官は其々管內の市場に付き經營者の指定を爲し又名稱、區域、面積、設備、管理方法、開市及び休業日、開閉時刻其他必要事項を明にして整理を完了し又其取締に付ては市場の新設、廢止其他重要事項は總て道長官の許可を受くるを要するのみならず、道長官は公益上必要ありと認むるときは許可の取消、市場の移轉、其他適當なる措置を執ることを得べく之れに依りて從來の弊竇一掃せらるゝに至りたれば將來市場は漸次有效に其機能を發揮しつゝあり、今過去三箇年間に於ける市場數及び取引高左の如し

年次	市場數	取引高
大正元年	一、一一五	九三、三八〇、一三六
大正二年	一、一五〇	四九、三三七、六五〇
大正三年	一、二二八	四三、四一七、一六八

◎火災豫防訓令

立花警務總長は道面各道警務部長に對し火災豫防に關する左の訓令を發せり

火災の豫防に關しては屢次訓令する處あり各官は平素部下を督勵し警戒に怠らざる可しと雖も往々悲慘の災禍に罹りて家財を燒失し人畜を損傷するもの鮮なからず其甚だしきに至りては官衙自ら火を失して建物等を烏有に歸せしめたるが如き失態なきに非ず今や時既に冬季に屬す宜しく一般民衆に對し之が豫防の方法を諭達し部下に對しては嚴に戒飭を加へ以て萬遺憾なきを期す可し

◎電報規則改正されん

其筋にては內外通信機關設備の進捗と共に通信者年々激增を來し事務の繁劇を加へ從來の規定に多少の更改を加ふる必要を認め目下之が調査進行中なるが其第一著手として電報規則の一部改正を行はるべしと

◎兼二浦線新驛設計

黃海道兼二浦黃州間の略中間に位する黃州郡永豐面舊長川里は農作の好適地にして東拓の移住民多く其他內鮮人の居住民ありて將來相當の發展する見込ある地なれば鐵道局にては取敢へず簡易停車場を設置す可き計畫なりと

◎在鄉軍人會と大觀兵式

十二月四日擧行さるべき盛世の大觀兵式に參列の爲め在鄉軍人會京城分會よりは代表者として分會長小林砲兵大佐臨時旗手春山工兵少尉の兩名二十六日出發東上す

◎仁川商品陳列館

仁川商業會議所にては目下申請中の創立豫算の認可あり次第豫て計畫中なりし仁川商品陳列館開設の準備に著手する筈なるが陳列品の種類は仁川港商勢圈內に於ける輸移出品全部鮮人向き內地商品を網羅し之れに幾多の參考品を陳列すべしと云へば愈々開館の曉には一般商人に取りて好個の資料たるや言ふ迄もなかるべし

人事消息

▲ロバード氏(米國鑛山業) 廿五日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲ワデー氏(英國實業家) 同上
▲マッカリ氏(米國實業家) 同上

(東京發別電 續)

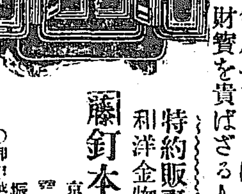
圓滑なるが本年は特に同行に於て朝鮮銀行と交渉し米穀資金の低給に應[illegible]

去る二十日二十一日の兩日總督府醫院內に於て行ひたる醫術開業試驗[illegible]醫官及び田中丸副醫官等にして二十六日午後終了の上二十七日午後二時[illegible]

不合格品の大部は地場米にて叺の重量不足に依るものにして夾雜物に依り不合格となりしものは僅かに四十五叺に[illegible]

◎藥劑師となる近道は本會發行の講義錄に限る 藥劑師に非れば藥業に從事する權利なし、開業志望者は此際藥劑師となれ
會員募集 八ケ月卒業
東京藥學會
◎講師 本會講師は藥劑師試驗委員及專門藥學士にて斯界最良の通信藥學校なり
東京神田表猿樂町廿五

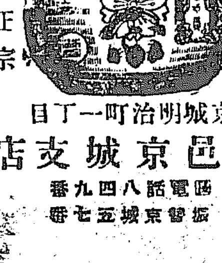
東京竹內製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり



◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり 金庫は遺憾なくこれを保護す
特約販賣店 釘洋金物商
藤本藤次郎本店
京城本町二丁目 電話四五一番 振替貯金京城二七四番
○御申越次第目錄進呈す○

★
資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目 電話五八番 振替貯金京城一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

比較は最良の撰擇法なり
サクラ正宗



サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替京城五七番

果然! 紳士の愛賞我が牛久赤白葡萄酒に集る
畏くも國產 御獎勵の御思召を以て宮內省の御用命を蒙りつゝある本酒は今や貴紳上流社會の嗜好上の歡迎と愛國的御同情の下に曾て前例なき多大の賣れ行きあるを感謝す!
本邦唯一の佛國式優等生葡萄酒たる本酒の品質は舶來品に遜色なく運賃關稅なきだけ値段も遙かに低廉なり

東京日本橋本町 近藤利兵衞

…にして英國經由のものに限り大連輸出許可されしと日本政府へ要求せり

▲不媾和加盟と政府 單獨…府は愼重に考量しつゝあり

▲參謀總長動かず 參謀總…商側は當惑の態なり

▲英支同盟協商 英支同盟は目下駐支英國公使を經て支那政府と…

朝鮮の生活に『落付』が出て來た

新たに出來る阿里峴の新墓地

此間開かれた共進會を見物に來た内地の人で長いは十年近い所で四五年目に朝鮮に來て見た人の口から異口同音に、變つた、落付が出來て來たと云ふものが多かつた樣に聞いて居る實際京城に居る古老に就して見ても最近數年間即ち併合後の人氣の變遷には心から驚いて居るらしい、それなら那邊が落着いて來た證據かと反問して見ても是れだと云つて的確な例證を擧げる者はないけれどもとにかく所謂落着が出來て來たことは何人と雖も首肯する所であらうと思ふ

▽▽▽質實な實用向の品物が歡迎さる△△△

併し市井の商賈人に聞いて見ると先づ呉服屋の如きも昔の樣にベラ〳〵した華奢なものは買手が少なく地味で高尙なつまり實用品の賣行が多數を占むることとなつて來た即ち在住内地人が一般に眞面目になつて來た證據で眞面目になつたのは落着が出來て來たともいへるのである腰掛根性や出稼氣質は漸々姿を沒しつゝあるのは事實であるらしい更に日用品や家具類の商店に就て調べて見ても是れ迄の大阪出來の仕入物や敗物類は賣が遠のき丈夫な永久的なものを望む客が多くなつて來た盥一つ買ふにしてもトタン製のものなんかは一向賣行かず火鉢も長物の五圓十圓と云ふものが飛んで出ると云ふ勢ひ吸物の膳椀や春慶塗の組重なども相當に賣れる樣になり最近には五十圓百圓と高價な佛壇が出る程で櫻井町邊に專門の佛具商が出來て來ると云ふ譯で所謂『内地味』が稍々行き渡りつゝある樣に思はれる

▽▽▽簞笥長持の類が弗々据込まれる△△△

植民地は何様更のこと一體に都會地と云へば轉宅が劇しく從つて家具の如きは運搬に便利なもの許りであつたが近來何れの宅に行つても相當の宅には簞笥又は長持の類が嚴然と座敷の鴨に据えられたのを見るは何んとなく賴もしい氣持のするものである一事は萬事で一般の意嚮が此通りで進んで行くから家の建て方でも蓆板張りなどの殺風景なのは誰も借手がなく床の間もあり小庭も少々あつて永住の出來る家でなければ駄目だと言ひ出した、尙ほ調べたなら幾何も例證を得るに困難しまいがお役所でも茲に見る所あり京城府は阿峴里に何萬坪と云ふ理想的の墓地を作り移住の内地人をして『第二の墳墓の地』を作ることにして居る、浮腰は世渡りの禁物、石の上にも三年とかや

小船繋留所の問題

仁川の水産會社と斗量場は何處へ移るか

仁川築港工事が漸次進捗するに從ひ海岸通に沿ふ仁川唯一の小船繋留所は已に第一期の埋築を終り漸次第二期第三期の埋築を實行する事になるから水産會社や穀物斗量場は早晩何處かに移轉せねばならんのであるが其適當なる移轉地の撰擇が非常に困難であつて仁川經濟會でも夙に年來の懸案となつて研究中であるところで水産會社は略ほ仁川港町檢疫事務所並びの世昌洋行倉庫附近に内定したる樣子であるが斗量場は花町埋立地説と仁川驛附近説と沙島と築堤の中間説の三つあつて未だ何れとも決して居ない樣だが仁川驛附近は西北風が多くて小舟の繋留が出來ず花町埋立は少潮の際は入津出來ず沙島と築堤間は前二缺點はなきも運搬上の不便があるので何れとも未だ決定せぬ。

電話の苦情を少くする爲に

私設交換室巡視

彼是三千臺近くある京城の電話の内には總督府、朝鮮銀行、京城府廳の如き私設の交換室を置き男女の交換手を置いて接續をして居る所が二十箇所近くある、私設接續をする位な所は孰れも主なる官廳、銀行、會社等であつて

▲交換手の監督 なども相當行はれてゐる樣だが郵便局の如く直接交換手を監督する機關を設けて居るところが尠ないから較もすると交換上に差支が生ずる場合が起る、これが一般加入者には局の交換手が惡いのか私設の方が敏速でないのか判らないので局に向つてぽん〳〵怒りつけてくる、それがため電話當局者に於いてもこれに關する適當な方法を考へ中であつたが此の程

▲一策を案じて 本局から私設接續のある所に對して協議をした結果私設接續の方にも責任者を置き局からは係員が折々各官廳會社等の交換室を見廻り直接間接に注意を與へる事になつたがその結果大分成績が良くなるだらうといふ

同情す可き二百名の孤兒

淑女院の慈善市

京城明治町天主敎會構内に設けある淑女院は從來本國よりの送金と一部生徒の手藝等に依り經營し來れるが本國の戰亂により今夏より俄に送金絶えたりとのことに同院は本年恰も創立後滿二十六年に相當し此の間絶えず嫌の譴を聞くに同院童貞マリー鮮人女子の孤兒を收容し規定の學科を授けつゝ養育に努め十七八歳に達すれば良縁を求めて結婚せしめ己に數百名を嫁せしめたるが之等の孤兒養育費は每年母國の子供の會と稱する佛人小兒が一人一箇月一錢宛の醵金中より一千六七百圓を給與され居たるものなりと而して同院現在の孤兒數は最幼二歳最長十六歳迄二百名を收容し佛國より送金絶えたる以來は專ら生徒の裁縫刺繡其他の手藝品賣上高と社會慈善家の同情とに依り僅に支へ來れりと目下同院には童貞と稱する黑衣白冠の人五名及び鮮人敎師多數あり二十七日にはバザーを開始し一般慈善家の同情を求むる筈なりと

京城上戸評判記

罪の無い御愛嬌ばなしの數々

何れも奥樣には御内所の事

無くて七癖京城紳士の酒癖には隨分罪の無い御愛嬌ものが尠くない先づ警務總長立花將軍のは

■破れ徳利の綽名 の通り御愛嬌たつぷりの惡口が出るクフン〳〵と鼻がなる、飲み仲間の評判だ相な、お次がこれも警務總監部の山形大佐は醉ふと吉備樂の踊が名人で次は覗き眼鏡の口上とサメ〳〵舞を舞うて見せいの聲色がお得意、實業家の山口太兵衞さんは三時でも四時でもお構ひなく場合に出つては

■徹宵飲みつゞけ る方の長尻でお謡は毎時の通り娘の家庭敎育といふ所始めの間は座敷の美人連も餘程參考になると言つて悦ぶがお終には誰れも閉口するとのを但し萬一欠伸の一つもしようものなら雖がないても腰をあげないとは世間既に定評のある處、總督府では豪傑の秋山參事官は武骨で眼玉を光らす他に藝が無くやう〳〵あつてジャンケンポイとは情ない、上林山林課長は又

■オヤ〳〵さん の綽名の通り醉へばオヤ〳〵と言ひながら頭を撫でる他に藝が無い、靑木商工課長はあの河豚のやうなお腹をポン〳〵と敲きながら狸の腹鼓は

■都々逸がお上手 も無い、小宮李王職次官は勸進帳と他人の追從を許さゞる處、又小松中樞院書記官長の浪花節は今更申す迄もない、原田朝郵社長は端唄のしんみりしたもの、次で吉田事務のラッパ節一天張り有名だ相な、鮮銀の理事では水越さんの勸進帳と仕舞に、三島さんのラッパ節、踊、木村さんは唄踊なんでも御座れの多藝家といふ評判、又高野三井物産支店長は金色夜叉の貫一が十八番、續いて池田病院長の川島武雄に『走る車を呼びとめて』は役者も及ばぬ上出來だ相な、東拓では

■村田理事の義太 と保名狂亂位ゐで他にはあまり名人が尠く又朝倉辯護士が毎時でも鶴鍋の自慢するのと鮮銀太田三郎さんの醉へば相手構はず握手するのも罪が無いとの評判

京城上戸連の酒癖

馬術練習大會

黄金町馬術練習所にては二十七日午後一時より秋季大會を開き調馬、索運動、會員及び來賓の試乘、輕乘、西班牙乘等の諸種の馬術ある筈

宮城檢校演奏

箏曲大會開催

淋しい初冬の一日を趣味深い箏絃の樂を味はうといふ宮城檢校の箏曲演奏會は二十八日の正午から南山町京城ホテルで開會され一般の來會を歡迎するさうである

郵便行嚢を奪取せんとす

大洞山中の殺人

平北昌城郡大楡洞郵便所遞送夫朴昌錄が本月十六日同郵便所より北鎭行の行嚢を携へ同郡東倉面大洞の山道を道行中同夜山中にて何者にか慘殺され行嚢を破壞の上内部を取調べ居れるを其後發見したる所幸にも該行嚢中に容れありし現金五百六十圓は盜難を免れゐたるを見れば賊は頗る狼狽せしものゝ如く目下同地方にては犯人嚴探中

便所の踏板の下に百圓

仁川にては去る十月初め頃より市内各所の精米所に於て米穀の被害頻にして其被害額百數十圓に達したるより石川中島の兩刑事は殆んど寢食を忘れて犯人搜査に苦心中去る十三日午後一時頃仁川寺町妙覺寺構内に玄米五斗入叺一個隱匿しあるを發見したるを以て賊は必定夜陰に乘じて持ち行くならんと思ひ刑事は構内稻荷堂に張込み居たる處案に違はず賊は同夜午後六時頃構内に忍び入り前記叺を持ち行かんとする刹那兩刑事は躍り出で有無を云はさず引捕へ引致取調べたるに果して前被害犯人にして同犯人は十月以降天日、庄野、辻川、高野の各精米所倉庫の錠前を捻ぢ切りて忍び入り數回に亙りて數十叺を窃取して賣却消費したるのみならず去る八月十三日仁川花町仁川支廳前道路に於て京城新町西廣正廣が遺失したる現金百餘圓入財布を拾得して之れを仁川柳町共同墓地附近の共同便所の踏板下に隱し置き數十回に引出し全部消費したる事實を遂一自白に及びたるより取調べの末二十五日檢事分局に送致せらる

此頃の口の衞生

齒に注意せよ

育兒の事に就ては一般家庭でも充分注意が届いて、便通の模樣、體温の如何或は衣服の調節、入浴時の注意など其々心を用ゐられるが、茲に未だ世人が餘り注意しない

▲大切な事が ある、其れは毎日とか又は隔日位に小兒の口を開かせて口内を檢査して遣ることである齒は消化器の關門で假令小兒の乳齒でも、其れが若し齲齒にでもなつて居たら、一日も早く治療を加へなければならぬ必要がある

▲世の母親 は含嗽とか又齒を磨くとかいふことに迄は注意が届くけれど口を開かせて齒の檢査をたし、又殘滓物などの附著して居るのを能く調べてやることなどは誠に少いやうに思はれる、其れに口を開かせて口腔内を檢査して遣れば獨り齒牙の關係のみでなく、腸胃の惡いときや熱でもある

▲舌の模樣 も惡くなつて來るし其れに扁桃腺の腫れて居るのなども容易に知ることが出來るやうになる兎に角世の親達をして愛兒に口を開けさせて口腔内を檢査してやる習慣をつけることは育兒上大切なことで、檢査に慣れると齒とか舌とか咽喉などの事は素人にも容易く見分けが附くやうになる

毆打が原因で死亡 京畿

道富川郡稷南面素砂里居金鼎洙（三）は大正三年四月より仁川警察署素砂里巡査駐在所に巡查補として勤務中本年十月十七日管内清潔法施行に當り各戸檢查の爲め同面高尺里に出張し歸途同日午後二時頃同里文泰協宅前を通り寛りたる際偶々同家外庭に來合せゐたる同里朴柱義妻金姓女（六五）梁聖煥妻元姓女外數名の婦人は元姓女の抱きゐたる乳兒の急に泣き出したるを見て何を恐る、やと一同高笑したるを是れ必定自分を嘲笑するものと思料し其無禮を咎めたるに金姓女は子供に對して言ふこととなりと言葉汚く言ひ放ちたるより大に憤り突然同女の右胸部を突き倒したる爲め右胸第三肋骨を折り之が原因にて發著性肋膜炎を發し急性肺炎を惹起して同月二十五日遂に死亡するに至らしめたる爲め京城地方法院に於て傷害致死罪として二十四日懲役三年の判決を受けたり

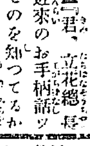
賭博は三十圓

千葉縣香取郡佐原町當時京城南山町二丁目人夫請負業H島榮助（三）は本年一月二十三日夜黄金町三丁目飲食店靑木方に於て前所平太郎外數名と共に花札にて長崎と稱する賭博をなしたること發覺し二十二日京城地方法院にて罰金三十圓の判決ありたり

事務員の詐欺横領 京畿

道水原郡水原面山櫻里居住京城旭町生れ柳基英（三）は京城地方法院所屬辯護士韓東履の事務員として雇はれ水原面山櫻里出張事務所に於て訴訟の受任訴訟費用の受拂等の事務に從事中本年四月二十五日頃より三四回に亘り一回に二三圓乃至二十數圓を詐欺横領したる爲め京城地方法院に於て二十四日懲役一年三箇月の判決を受けたり

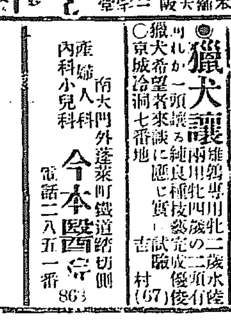
◎長崎屋の勉強 明治町二丁目の長崎屋にては午前七時より八時まで御賭求の御方には一個の限引にて差上ぐる由



▲『君、立花總長の近來のお手柄話ッてのを知つてるか』『いゝや』と宇佐美長官が記者を捉へての話▲御大典に參列した歸り道宇佐美長官、立花總長は下關で一緒の聯絡船に乘合せた處が隣室に一人の外人がゐて怎も其姿や言葉附が怪しい船客名簿の署名を見ると米國市俄古生れとしてあるが字體が如何にも獨逸臭味があり其『シカゴ』と云ふアクセントが怎しても獨逸流だ▲『怎も怪しいだ』と宇佐美長官が囁けば『俺も然う思ふ』と立花將軍の返辭へ船が釜山に著くと直ぐ憲兵を呼んで何か下關あたりから言つて來てゐないかと聞くけれど何も來てゐないとの答▲併し直ぐに下關へ電報照會をさせ一方汽車中の警戒を命じて置いて汽車に乘ると知らぬが佛の外人先生悠然として總長の乘つた一等室に乘込んで來る▲憲兵に後を尾けられボーイに迄目惹き袖惹きされ乍ら、南大門迄落延びた處を總長からの電報で待ち構へてゐた憲兵に捕はれた▲此男こそは廿三日の本紙夕刊で報せられた獨逸俘虜砲兵中尉フリードリッヒモーデーであつた

▲醫術第二部試驗成績 …而して二十五日よりは更に第三部…科學、產科學、婦人科學、衞生學（細菌學を含む）試驗委員は早野、久慈兩…

…出米檢査數量は一萬卅五叺にして内不合格四百十八叺を出せり而して共…



京日案内

◎普通 一回前金三十錢

◎讓家 市内目抜の場所今川鶴園に付至急店坂の儘讓る希望者は 京城本町一丁目 福井堂 49

◎貸金 官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第御伺上候 京城大和町三不老湯前横丁 ○起木屋 54

◎醫生に經驗あり醫家又は病院に雇被度 年齡廿二調劑に充分經驗あり 京城明治町二ノ十六 千葉方 松村 56

◎電話讓渡す 京城一一三六番の電話至急讓り渡したし希望者は照會あれ 仁川支那町 養生醫院(57)

◎職工募集 廿歲より卅五歲迄勞働に得耐者要保證人 電話壹六五番 朝鮮製綿株式會社(65)

◎番外

◎番頭店員至急入用 年齡十五六歲より廿二三歲迄但吳服商に經驗ある希望者本人至急來談あれ ○京城本町一丁目（本城菓子屋隣）四九 木塚吳服店 53

◎湯屋賣貸す 女小供で出來得る確實なる事業は湯屋に限る希望者に讓渡又は貸借す至急來談あれ 京城南山町 ▲原金旅館 2

景品附賣出 廿日より二十五日迄陸續御買求に對し五錢以上御買求に景品呈 南大門通四市場前 電話二九一二番 高橋肉店 48

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右 電話二二八三番 國江商會 859

開業 合乘自働車 貸切 京城發午前七時 春川發午後二時 京城明治町一 取次一八四六 支配人 松田壽助 935

鍼灸一般 子宮及び胃腸は特に請合 京城旭町一丁目石組橋小路入 誠心堂 吉川(46)

はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 847

內科 胃腸病 京城本町一丁目 醫學士 石川淳夫 電話三三番 診察夜九時迄 專用二七九番 91

獵犬讓 雄 兩川北 二歳 四頭 希望者來談に應じ實猟試驗 ○京城冷洞七番地 吉村(67)

產婦人科 內科小兒科 南大門外蓬萊町鐵道踏切側 今本醫院 電話二八五一番 863

東蒙の新利源

▼特產取引 蒙古乳酪羊毛獸毛、皮革、膠原料、骨類、天然曹達、甘草

▲利源通信 一般照會手數料五十錢、利源調査通信料一件三圓見本一件送料共三圓（小包料に限る）

鄭家屯東街 東蒙興業公司

‖發展の好機會‖

鑛山用 水銀 新荷著 保稅品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五番 二七七四番

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

瓢水味淋 堺 森鴻釀 登錄商標 專賣店 京城本町三丁目 前田酒店

新刊書御案内

◎波瀾振動及避雷 四五
◎支那政治地理誌 下卷 三五
◎鐵道 森木太郎 一五
◎ゼエレン、キエルケゴオル 和辻哲郎 二五
◎心靈學講話 八五
◎和漢名士參禪集 一〇
◎三宅雪嶺修養研究 五五
◎會社員物語 三〇
◎怪美人 宮地竹峰 八〇
◎探偵ロマンス 九〇
◎北方の流星王 八五
◎生花秘傳集 四五
◎大正いろは引大辭典 八〇
◎作文制題答案文例 六五
◎ペン習字法及手本 八〇
◎壇上より國民へ 三〇
◎列強の不安と野心 六〇
◎國民敎育論 三〇
◎假名貞觀政要 八五
◎經濟上より見たる道德 八五
◎早く彈ける珠算の覺方 六〇
◎廣告と販賣 二〇
◎腦を害せぬ勉强法 五〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話一〇八八

千生瓢 (51)

須藤南翠作 筒井年峰畫

第一戰（四）

桑名攻では先陣を承はつて、織田家名譽の驍將瀧川左近將監一益を散々に驅け惱した、攝州無双の豪傑中川瀨兵衛清秀は、大岩山の要害を承はつてから、專ら砦の構造に從事して、一度の快戰する機會のないのを最う儚らず思つてゐた。

何事にも遺算のない秀吉の指揮を受けて、砦の內外は略成就した。地が險岨なので、運搬の不如意のため工事は割合に手間が覺えて、多くの日子を要したのであるが、其間左右の砦で縱と敵を押へてゐたので、少しの妨害を受くることもなく、今は全く成就した。これで塗つた壁土さへ乾けば、よし分內は狹くとも、幾萬騎の敵が襲ふとも、十日や二十日は十分に支へ得べく、清秀は限なく陣中を巡つて、持場／＼を嚴重に固めさせ、また細作を諸方に放つて、詳さに敵狀を偵察させてゐた。

四月二十日の朝であつた、敵陣近く忍ばせた家人か、息せき走り歸つて、清秀に注進した。

『今朝敵の炊煙、常になく夥敷うおざるに依つて、而々手分仕り、細作を入れまいた處、今日中入の戰を挑むげにおざりまする』

『何ぢや、敵寄すると申すか、その部署は何うあるぞ』

清秀は膝に杖た鐵扇の撥ぶばかり力を入れた。

『先づ柴田三左衛門尉勝政を大將として、三千五百餘騎は、賤ケ嶽へ押し寄せ、金森彥八入道、原彥次郎の一隊は、堂木山の砦へ、安井左近、水野助兵衛の一隊は、小川殿の陣へ、淺見但馬守は、堀殿の陣へ向いて發向し、山路將監を案內者として、不破彥三以下の精兵三百餘騎は、高山殿の陣へ向ふげにおざりまする』

『して此大岩山へは誰が向ふか。』

『されば、種々に探り試みまいた處、何うやら鬼玄蕃殿向はるゝかと存せられまする』

『佐久間は聞ゆる剛の者ぢや、鬼玄蕃自身に向ふからは、清秀を武士らしき者と見て、武勇を試さう爲と覺えた。敵に取つて不足はない、日來の手並を顯はす時が來つたわ』と、武者振ひして勇み立つた。

其家來が前を去つた時、また次の諸士が來て、

『羽田長門守殿より、御使者到來おざりまする』と、告げた。

清秀は早速長門守の使者を延いて其使命を尋ねた。使者は一揖して座を前み、

『主人義眞申しまする、何心なく馬を走せ歸り、大息ついで申し候ふは、その足冷し居たる馬取一人、遽だしく勢の多少は定かならず候へども、越前勢大旗小旗さし翳し、はや近々と寄せて候ふと申すに依つて、義眞早速櫓に登り、物見仕つて候ふに、行市山の方よりして、由々谷々に靡へる旗馬標の景氣、萬騎に足らぬ事は候はじ定めてそれへも寄する事と存ずる、但し其御陣所は○塀櫓の作事いまだ整はず、要害甚だ宜しからず防戰の便り惡きやに承はり及び候ふ左樣の處にて大敵を引受けらるゝこと、然るべき軍法とも存じ候はず。急ぎ當方へ御入り候ふて、始終の勝利を旨とせらるゝこそ、肝要の御思節と存ずれ。偏へに御案內申し上ぐるとおざりまする』と、明白に述べ立てた。

清秀は首尾聽き了つて

『御懇切の御使者』と、清秀近ごろ忝う存ずる』と、慇懃に挨拶して、然として形を正した。

『仰せの如く、當砦の要害宜しからず、普請も全く成就とは申し難きに大敵を引受け申さんこと、誠に危き限りでおざる。去ながら、筑前守なら斯やうの處にても、防戰致さるゝ存慮なればこそ、高山右近と某とに、この御山の邊を委せられた事と存ずる。然るに、其一人此處を退き申さんこと、侍の道とも存せられず、筑前守の心の底も恥かしうおざれば、御口上に從つて、賤ケ嶽の御陣へ退き難く候ふ。此よし長州殿に申されい』と、斷乎として言ひ拂つた。

元祖 チョコ饅頭 壹錢
元祖 ソバ饅頭 壹錢五厘
京城明治町二丁目（耶蘇教會通）
元祖燒餅製造元 長崎名物屋

讀者の領分

さらば光化門よ別れ惜しき光化門よ我は茲に三箇月暑き夏の終りより水凍る今日の寒さまで一日も缺かさで優しき汝に接しただ實に汝は憂き旅の已が唯一の友なりしよ疲れしときも苦しきときも汝が膝に憩ふて元氣を回復せしこと幾度ぞ懷しき光化門よ今日は如何なる惡日ぞ勸めも遂に終りたり今潜る此度は汝と永き別れぞよ嗚呼懷しき光化門よ再び訪ね來る迄は無事で壯健で居て呉れよさらば光化門よ別れ惜しき光化門よ（光化門の友より）▲編輯局の皆樣此度の火災でどんなにか御おどろきなさいましたでせう御けがはございませんでしたの私も煙に包まれた御社を眺めました時は只おそろしさと悲しさに面を覆うて立すくんでしまひました併し半分ですみましたのは不幸中の幸でございましたワネ御體御大事にお振び遊ばせ（美都子より）▲冬になると松葉賣りが夜中にもノソ／＼やつて來る彼れは危險だ夜分は必ず目につく樣に大きな提灯でも持たすのが可からう（山の手の住人）▲ソロ／＼氷り出すのに夕方など道路へ水を撒くものがある彼は是非止て貰ひたい道路へ氷を造る樣なものだ（本町の小僧）▲近頃又々門札を出してない家が殖えた私等は非常に困りますから何うぞ門札丈けはハツキリしたものを出して下さい（郵便配達夫）▲京城獵友會員の一人に小生も大贊成なり是非早く大狩獵會を催して貰ひたいのです幹事さんお願ひします（同會員贊成者）

京城南大門通三丁目（舊本町巡査派出所入ル）
入院隨意 胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

新刊紹介

▲少年（十二月號）裝幀の美と內容の整つてゐる點では少年雜誌中の隨一である、御即位式記念の二色版、兩陛下の御大禮寫眞、時事的のものから初めとして面白いものが一杯だ（東京橋時事新報社一部十五錢）▲實業之世界（十一月十五日號）野依秀一の増田義一攻擊の長論文、森村市左衛門翁に就て讀ふ慣例に依つて八つ當りの大活動、それに幸田、澁澤、三宅の名士の落語いた論文、何れも讀者を喜ばせるものであらう。表紙が日本及日本人に似て來たが面みの出來たのはいゝ（東京麴町有樂町實業之世界社一冊十一錢）

○新案安全式腕卷時計革 今般東京錦町... 字田川通千野時計店にて發賣せる安全式腕卷時計革は時計の脫落を防ぎ... 一般に必要なる品にして實行き盛んなりと

◎五百圓の懸賞 當選者 ... 三百圓一名 ... 月一日發行の婦人世界 ... 上より掲載すべし ...

京城壽座前 太平堂名刺舖 電話三七二番 振替三三六七 地方は郵送料不要

廣告

本病院長醫學博士李慰滿 W. T. Reid m. D. 儀兼て歸國休養中約一ケ年振に付ては今後尙一層業務擴張を計る爲め從來の普通診察所以外特別診察所を増設し茲に晝夜不拘左の時間に依り熱誠を以て診察に應ず可く候

院長診察時間（但日曜土曜を除く）
自午後二時至同四時 於普通診察所
自同四時至同五時 於特別診察所
右時間以外は朝鮮醫師に於て擔當す

開城滿月町 南星病院

如何にして體溫を調ふべきか

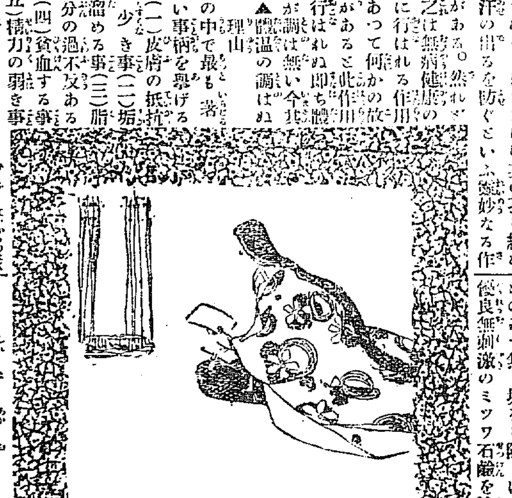
（ミツワ文庫四一一）

驚妙なる皮膚＝體溫の調はぬ理由＝體溫を調ふる法（其一）＝體溫を調ふる法（其二）＝體溫を調ふる法（其三）

▲驚妙なる皮膚 人の身體は夏でも冬でも乃至は春でも秋でも約三十七度といふは攝氏の體溫を有つてゐる此の三十七度の體溫を寒暖計に直せば九十八度餘になる。何うして斯う何時も同じ溫度であるかといふに我等の身體殊に皮膚には驚妙なる仕掛がある今其の一班を言ふと皮膚には何億あるか數へきれぬ程の無數の孔があつて此の孔に二種ある。一は汗の出る孔一は脂の出る孔である。脂は皮膚の表を滑かにし毛髮に色澤を與へるなどの作用あるが汗は體溫を調へる上に於て大關係がある。今例を擧げて說明すると鐵瓶の蓋をしておけば中の湯は冷め難いが蓋を取つておくと忽ち冷めるは誰でも知れる所、乃て我等は飲食物を攝り體溫を吸つてゐるが爲に體內には絶えず熱を作つてゐるけれど其の熱が多過れば汗の孔を擴めて汗をドシ／＼出し而して熱を放ち之と反對に熱を放たぬやうにするには其の孔を縮めて汗の出るを防ぐといふ驚妙なる作用がある。然れども之は無病健康の者に行はれる作用で何かの故障があると此作用は行はれぬ即ち體溫が調はぬ。

▲體溫の調はぬ理由の中で最も著しい事柄を擧げると（一）皮膚の抵抗力少き事（二）垢を溜める事（三）脂分の過不及ある事（四）貧血する事（五）精力の弱き事。先づ此の五つである。皮膚の抵抗力が弱いと寒熱に對して皮膚の孔を擴めたり縮めたりする作用が不完全になる。次に垢が溜ると皮膚の大切なる孔を塞ぎ汗の調節即ち溫の調節が出來ぬ。次に脂肪分が體內に多過ると夏は熱を放ち難く脂肪分が少いと冬は溫を保つことが出來ず其他色々の故障がある。次に貧血であると體溫の源が缺乏する道理。次に精力が弱いと勿論身體一般に影響し從つて體溫の調節も不十分になるは爭はれぬ事實である。今此の五條件に依て考へ此の五條件を完全ならしめば從つて體溫を調へられ此頃の氣候即ち秋の末から冬にかけての寒さに抵抗することが出來感冒にも罹らず呼吸器病にも侵されず元氣旺盛で働かれるのである。されば左に右の五條件を根據として以下其方法を說かう。

▲體溫を調ふる法（其一） 冷水浴冷風浴及び溫湯浴を怠らぬ事が第一要件である。冷水浴及び溫湯浴の方法は今更述べざるまでも世人既に知つてる所であらうから略す。冷風浴の事を一寸說明しておかう。冷風浴の方法は裸體若くは單物一枚（冬）になり十分時間程冷風に吹かしながら運動するのである。此の冷風浴及び冷水浴は取りも直さず寒氣に對する抵抗力を養ふ爲になるのみならず冷水浴でも溫湯浴でも之を爲す際には必ず優良無刺激のミツワ石鹼を塗けて洗はねばならぬ。元來入浴は寒熱に對する抵抗力を養ふためのみで無く垢をも除くには除くが優良無刺激のミツワ石鹼を塗けて洗はぬと眞に能く垢の落ちぬものである。斯樣に皮膚の抵抗力を作つて且清潔にするは體溫を調へる上に於て是非共缺く可からざる事である。



▲體溫を調へる法（其二） 夏は水分を含んだる野菜物や果物を多く食べるやうにし冬は脂肪分を含んだ食物を常食するやうにせねばならぬ。所で脂肪分の食物は消化吸收し難い物なれど肝油は獨り消化吸收し易く常に用ひてゐても胃を害することが無いが併し肝油は一種の臭氣があつて藥の目的ならばいざ知らず普通の食物とすることは出來ぬ然るに肝油ドロップスは此の肝油を菓子に製方した物で如何なる人が食べても其味旨くそれで單純の肝油以上に消化し易いから秋の末頃からは是非三度の食後々々には必ず用ひて身體を肥し體內の溫を放たぬやうにせねばならぬ。

▲體溫を調ふる法（其三） 貧血を癒し精力を增せば體溫を調へられることは前段に述べた通りであるが此の目的を如何にして達す可きかといふに之はミツワ人參錠を用ふるに限るのである。ミツワ人參錠は太古から靈藥中の靈藥と崇められてる人參の中で品質最も優良なる物を選び而も學術上合理の方法に依り之を精製して錠劑としたもので貧血を癒し精力を增進せしむるのみで無く神經衰弱、ヒステリー、腦充血、腦貧血に卓効を奏す腎臟炎にも効驗を現し老衰をも防ぐものである。又心身の疲勞を恢復する効力あるから種々の執業の爲に精神の疲勞した時之を用ふると精神忽ち明晰となり再び仕事に對して奮闘することが出來る。又色々の勞働の爲に身體の疲勞した折之を服めば直に元氣を增加して更に勞働を續けることが出來るのである。右の如き次第であるから俗に謂ふ冷性の人も是非用ひて身體を溫かにするが宜い。

肝油ドロップス＝五十顆入七十錢、百二十顆入一圓三十五錢、ミツワ人參錠百錠入五十錢、五百錠入二圓

尙詳しく効能や用法を知らうといふには夫々に添てある說明書に述べてある又郵券五錢を送らるれば家庭治療法といふ書物を送る之には各病の原因病狀療法等詳しく說明してある。元來ミツワ家庭藥は需要者本位で廉く賣り從つて取次の口錢が少いけれど勉強する店舖では請賣しゐる若し最寄に取次店が無かつたらミツワ石鹼、御園白粉發賣元東京日本橋區橘町丸見屋商店へ直接注文あれ又近頃ミツワ家庭藥の需要者が非常に多くなつた爲ミツワ人參錠を始めしミツワ家庭藥の各種に類似した藥が續々出て來たから求めらるゝ際にはミツワの商標とミツワの文字に能々注意あれ。

眼病の家庭療法

眼は智識の門であつて同時に快樂の戀である此の大切な眼の攝生を怠ると種々の眼病を起しはだしきは生れもつかぬ盲目になる扨眼病の種類は頗る多いが其中結膜炎の如き家庭で手當の出來る眼病の療法を述べると先づ強い光を避け其他青白き物を見ぬやうにし藍眼鏡か鼠色の眼鏡を掛け酒類や辛い物酸い物を用ひず細かい物を見ることや夜業を廢め暖く入浴して體を良くしミツワ石鹼を使ひ血行を良くしミツワ硼酸錠を溶してそれで眼に濕布法或は冷罨法を施し又それで眼を洗ひミツワ點眼液を用ふるに限る（ミツワ硼酸錠は純良な硼酸を錠劑としたものミツワ點眼液は消炎、鎭痛、防腐、消毒、分泌制限等の効ある諸藥を適當に配合したもので、無比の良品である、ミツワ眼病の家庭療法一冊郵券二錢）

品質卓絶 醇良清酒 金露
攝津灘酒商 釀造元 大塚合名會社
各地到所の信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通二丁目
發賣元 大塚京城支店 電話四五〇一番 振替京城五七〇番

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

抹茶會席 松秀庵 白水
新築中の離座敷及溫突座敷落成仕候御宴會等は特に勉強仕候間御用命奉願上候
京城旭町一丁目公園下 電話（一七一四番 一三九一番）

西洋料理 カフェータイガー
例年の通り牛、鷄、鴨すきやき相始申候 御立寄り願上候
南大門通三丁目 電話二五七一番

▲早くて安い一時間寫眞。ひると撮らぬ夜間撮影
共進會門鑑寫眞 金三十錢
京城寫眞館 本館 南大門通三丁目 電話一〇四〇番 分館 永樂町二丁目 電話二三四九番

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
總切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話一二二 一二七 六二 振替京城一〇三

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金廿二萬五千貳百圓
京城南大門通一丁目 電話五五八一番 六六三四一番 振替京城
銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明敬
一般銀行業 倉庫業
南大門支店 電話五四四番 七〇〇番 振替一五八二番
本町支店 電話二一九四番
仁川支店 電話八九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番

大阪株式特電

二十五日後場 [illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

▲後場大激戰 [illegible]